

# 2023年3月期 通期決算の概況



2023年5月9日

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 朝倉 智也

# 連結決算の概況

# 2023年3月期の連結数値

売上高は11期連続の増収、4期連続で過去最高を更新  
 経常利益は14期連続の増益、12期連続で過去最高益を更新  
 当期利益は14期連続の増益、10期連続で過去最高益を更新

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期 増減率
売上高	8,123	過去最高 8,747	7.7%
営業利益	2,129	1,831	△14.0%
経常利益	2,403	過去最高 2,458	2.3%
当期利益	1,454	過去最高 5,443	3.74倍

※当期利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を意味する。

# 主要なサービス別の売上高の増減

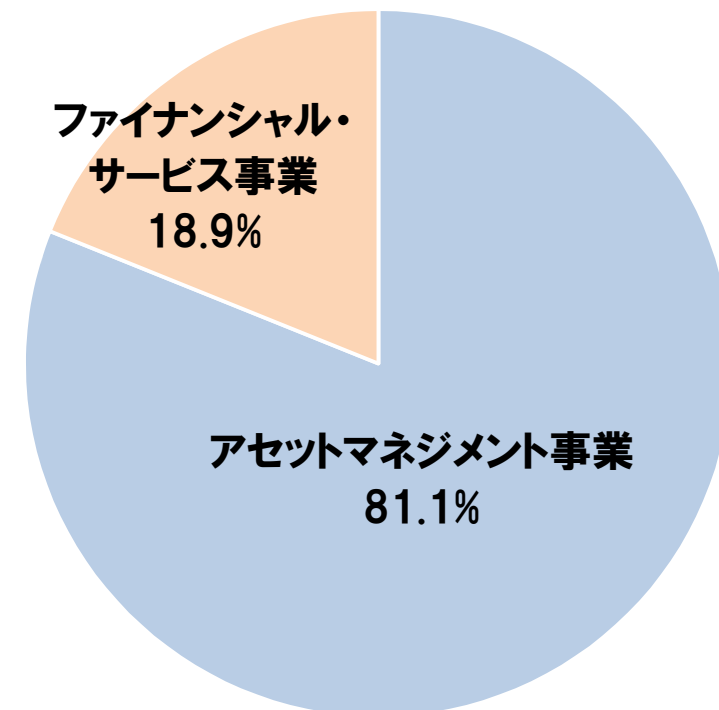
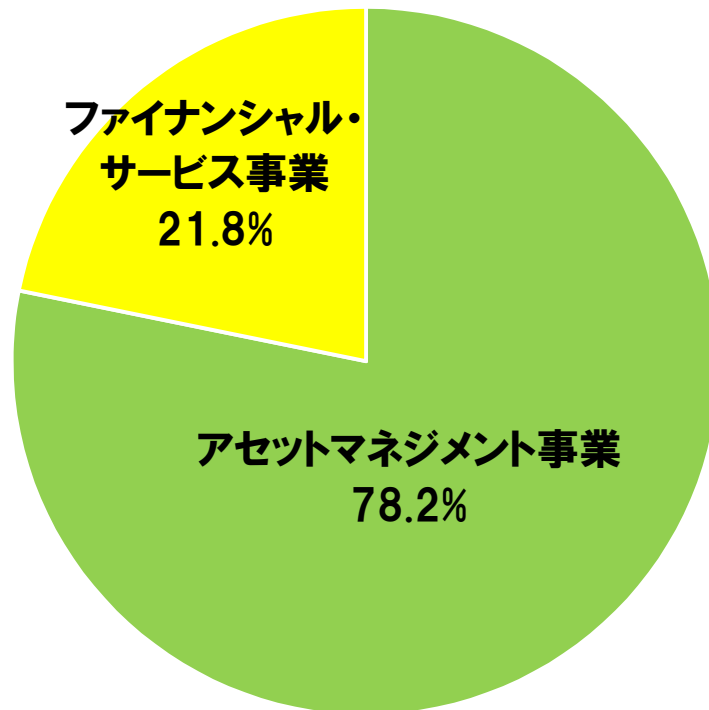
## 市場環境に大きく影響されないプロダクト・サービスは継続して拡大

(単位:百万円)

プロダクト/サービス		2022年3月期	2023年3月期	増減率 (%)
アセットマネジメント事業	SBIアセットマネジメント	(信託報酬) 4,524	(信託報酬) 4,596	1.6
		(成功報酬) 75	(成功報酬) 0	-
		合計: 4,599	合計: 4,596	0.0
	新生インベストメント・マネジメント	-	824	-
	CARRET Asset Management	1,337	1,408	5.3
ファイナンシャル・サービス事業	タブレット端末向けのデータ	600	650	8.3
	スマートフォン、PC向けのデータ(定常的)	730	938	28.4
	スマートフォン、PC向けのデータ(一時開発)	36	22	-38.8
	メディア・ソリューション (セミナー関連)	327	212	-35.1
	(WEB広告)	174	59	-66.0

# 連結の売上高・利益に占める「アセットマネジメント事業」の 構成比は約8割

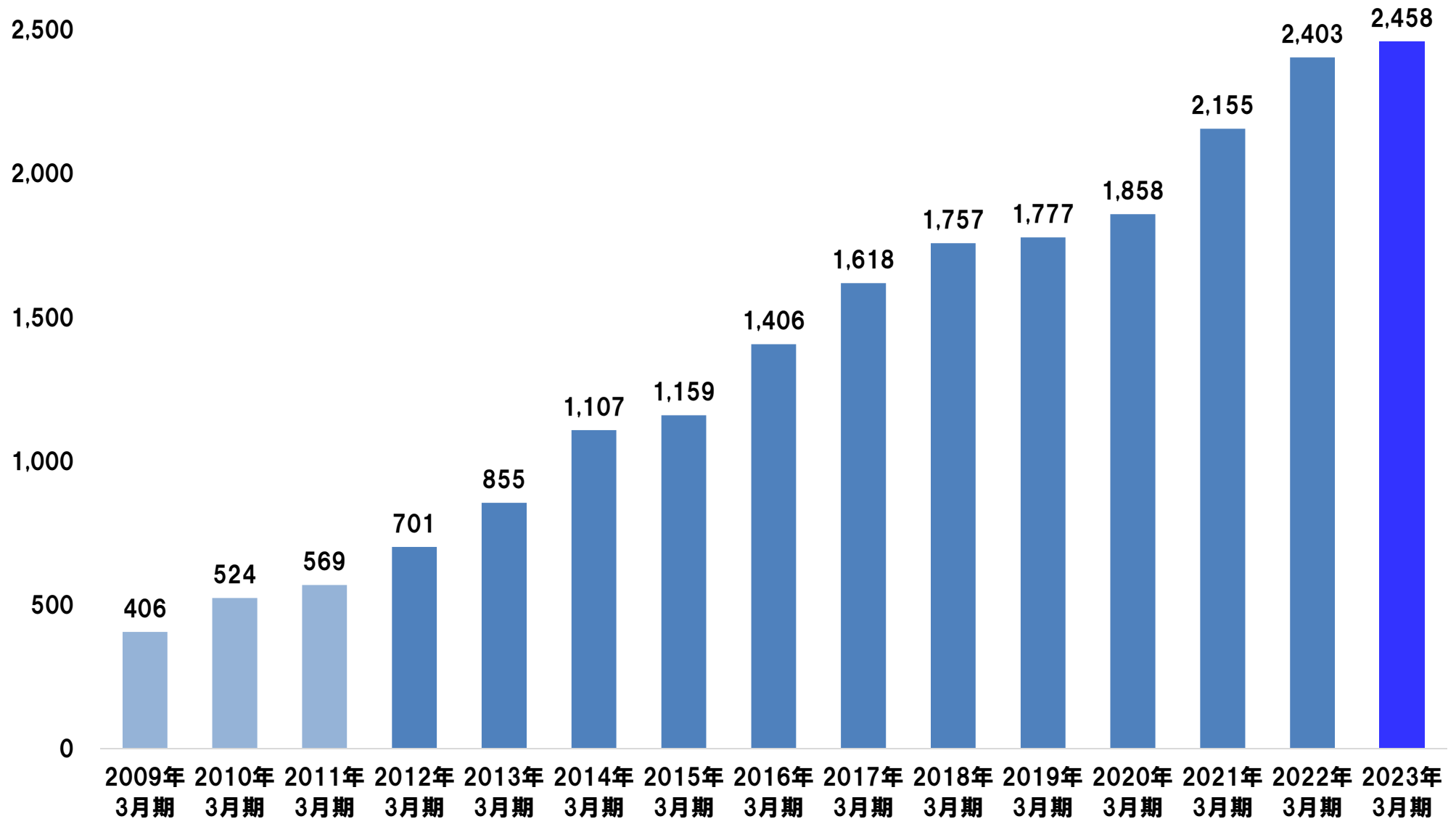
<連結売上高のセグメント別構成比> <連結営業利益のセグメント別構成比>



# 連結経常利益の推移

## 14期連続の増益、12期連続で過去最高益を更新

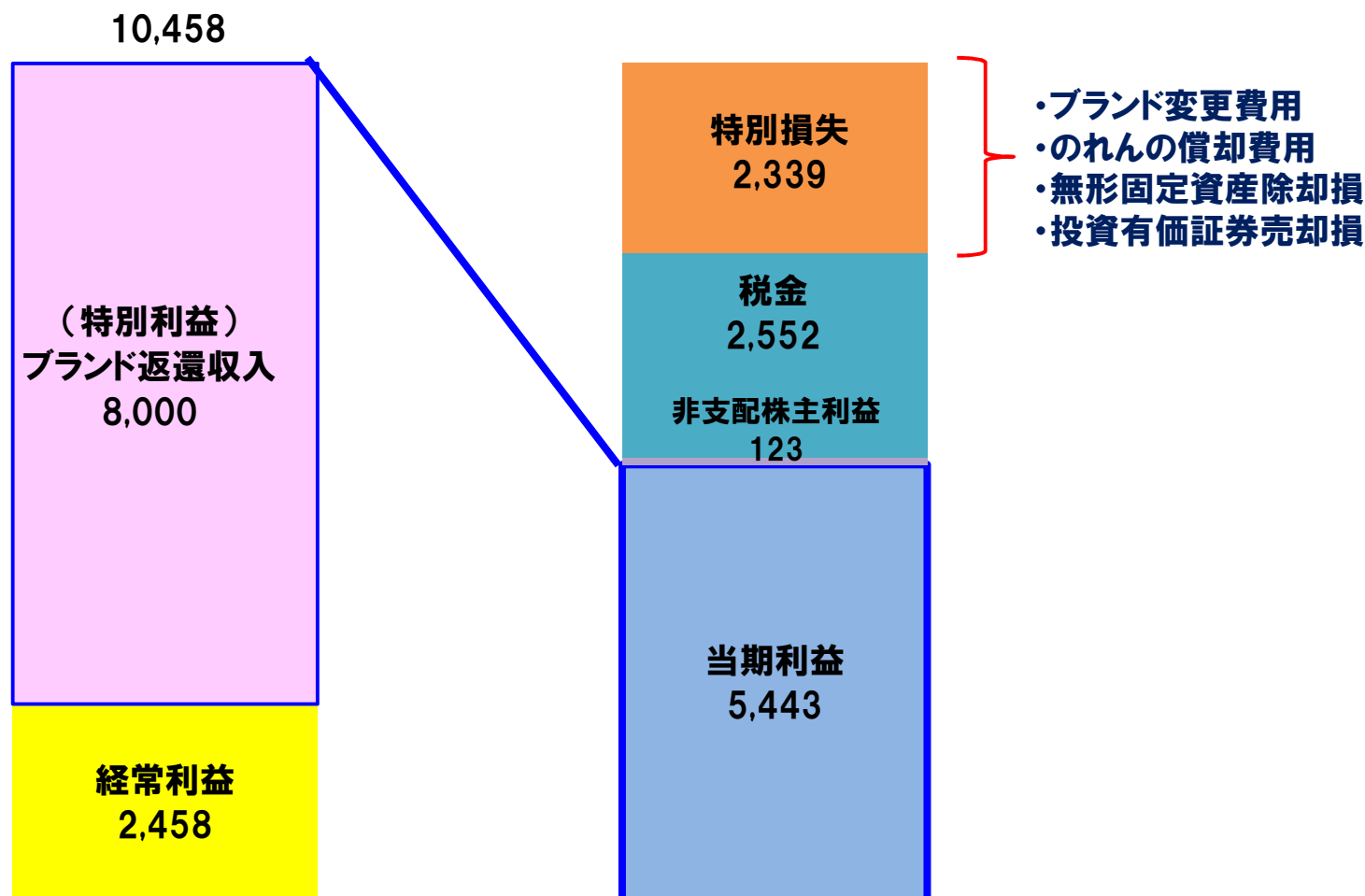
(単位:百万円)



# ブランド返還資金の対価「80億円」を特別利益に計上

80億円は2023年3月期の連結貸借対照表に未収金で計上されているが、  
2023年4月19日に現金で入金済

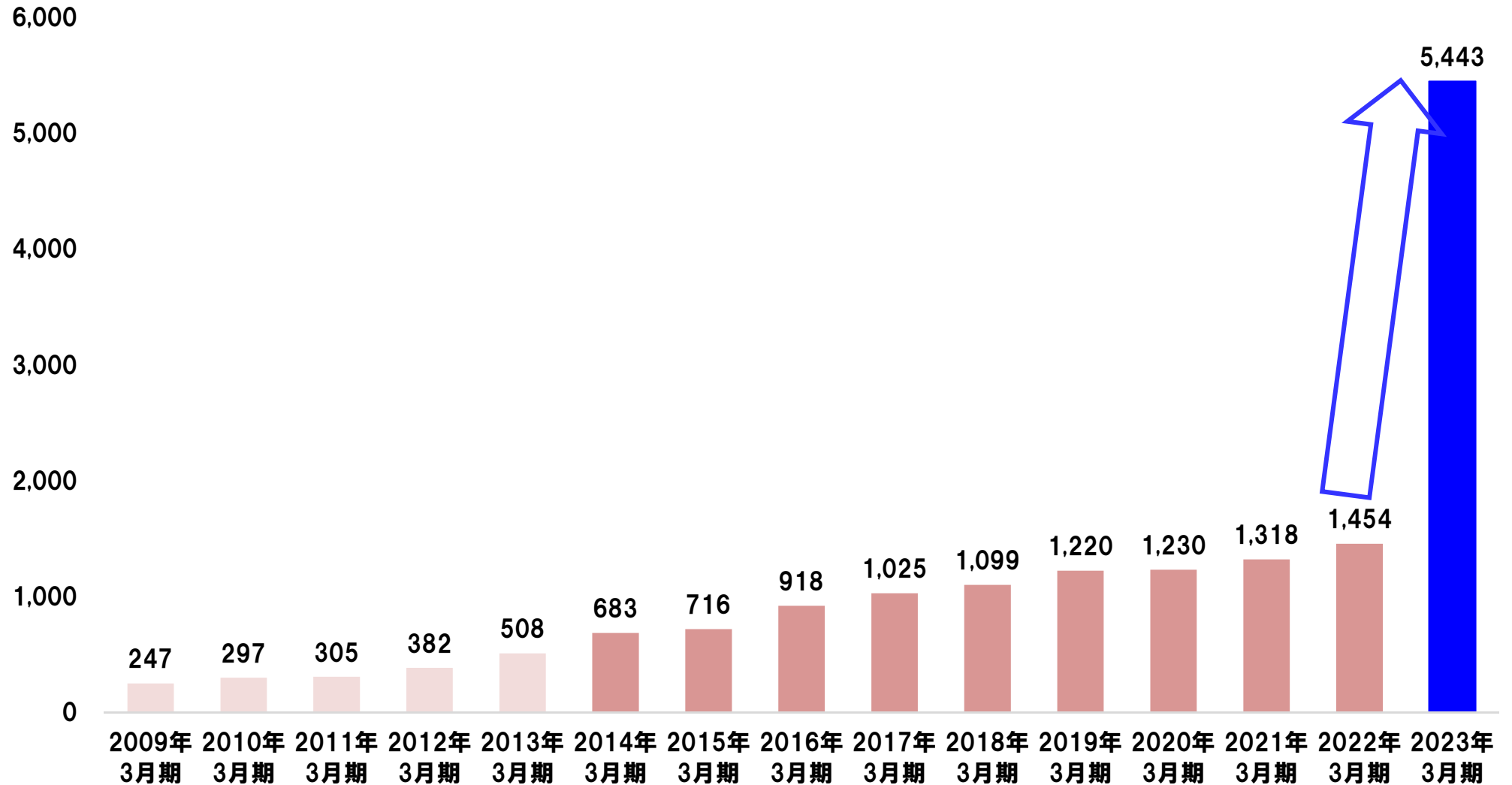
(単位:百万円)



# 連結当期利益の推移

14期連続の増益、10期連続で過去最高益を更新

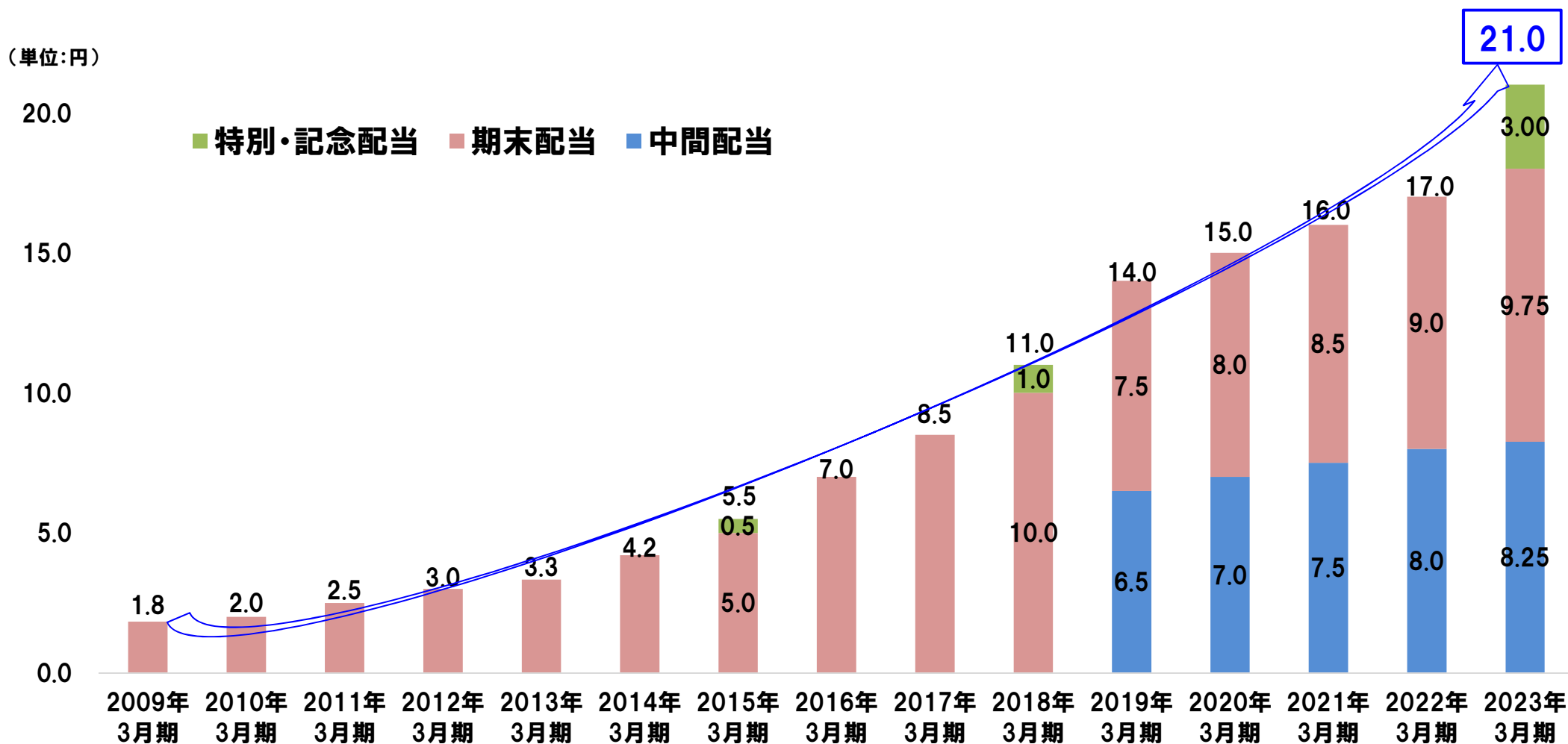
(単位:百万円)





# 株主配当は14期連続の増配

期末配当金は、1株当たり普通配当金9円75銭に、特別・記念配当金3円00銭を加え、合計12円75銭。中間配当金(8円25銭)と合わせた年間の合計配当金は21円となり、**前期比4円の増配(23.5%増)**



\*2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当

\*2018年3月期の記念配当は、設立20周年記念配当

\*2022年3月期の特別・記念配当は、ブランド返還による特別利益計上と設立25周年による記念配当

# 連続増益・増配を14期以上続けている企業は 全上場企業3,981社(2023年4月28日時点)の中で、 当社を含めてわずか3社



当社は過去10年の利益成長率およびROE（株主資本に対する利益）成長率が3社の中で最も高い

銘柄名	コード	連続増益・増配の回数	当期利益の成長率 (10年年率)	ROE成長率 (10年年率)
SBIグローバルアセットマネジメント	4765	14期	27.4%	8.6%
小林製薬	4967	25期	5.1%	-1.0%
ニトリホールディングス	9843	19期	11.3%	-3.9%

- ※ 連続期は会社予想を含む。増益は当期利益ベース。
- ※ 当期利益の成長率(10年年率)は、今期業績予想を含んだ10期前から算出。
- ※ ROE成長率(10年間の年率)は、10期前から前期実績までの年率成長率。

# XRP(暗号資産)追加進呈の株主優待

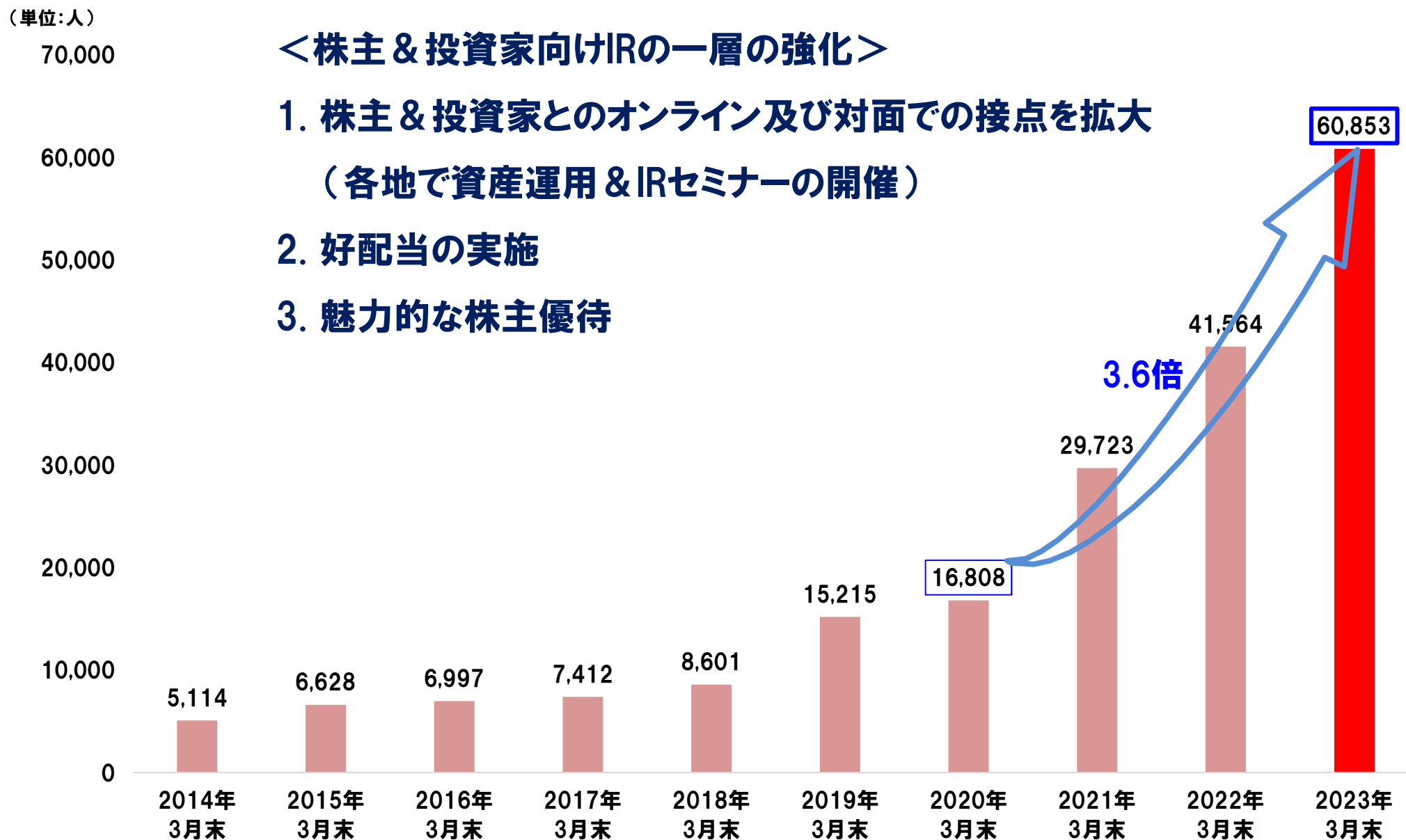
## 5単元以上保有の株主に、XRP追加進呈の株主優待を実施

単元数(株数)	(1) 株式新聞ウェブ版	(2) 仮想通貨(暗号資産) XRP	通常価格 相当額合計
1単元(100株)以上 5単元(500株)未満	 <p>2023年6月1日から 2023年12月3日まで <b>6ヵ月無料購読クーポン</b> (26,400円相当)</p>	<p>2,500相当の 暗号資産(仮想通貨) <b>34 XRPを進呈</b></p> 	28,900円
5単元(500株)以上	<p>2023年6月1日から 2024年6月3日まで <b>12ヵ月無料購読クーポン</b> (52,800円相当)</p>	<p>10,000相当の 暗号資産(仮想通貨) <b>137 XRPを進呈</b></p>	62,800円

※ 通常価格相当額は、『株式新聞ウェブ版』の通常販売価格(税込)と暗号資産(仮想通貨)XRPの2,500円相当額の合計額です。  
贈呈する2,500円相当の暗号資産(仮想通貨)XRPの数量は、2023年3月31日17:00現在の価格(1XRP=72.868円)をもって、決定いたしました。(1XRP未満切捨て)  
中間優待を廃止しますので、上記は、年間の贈呈額となります。

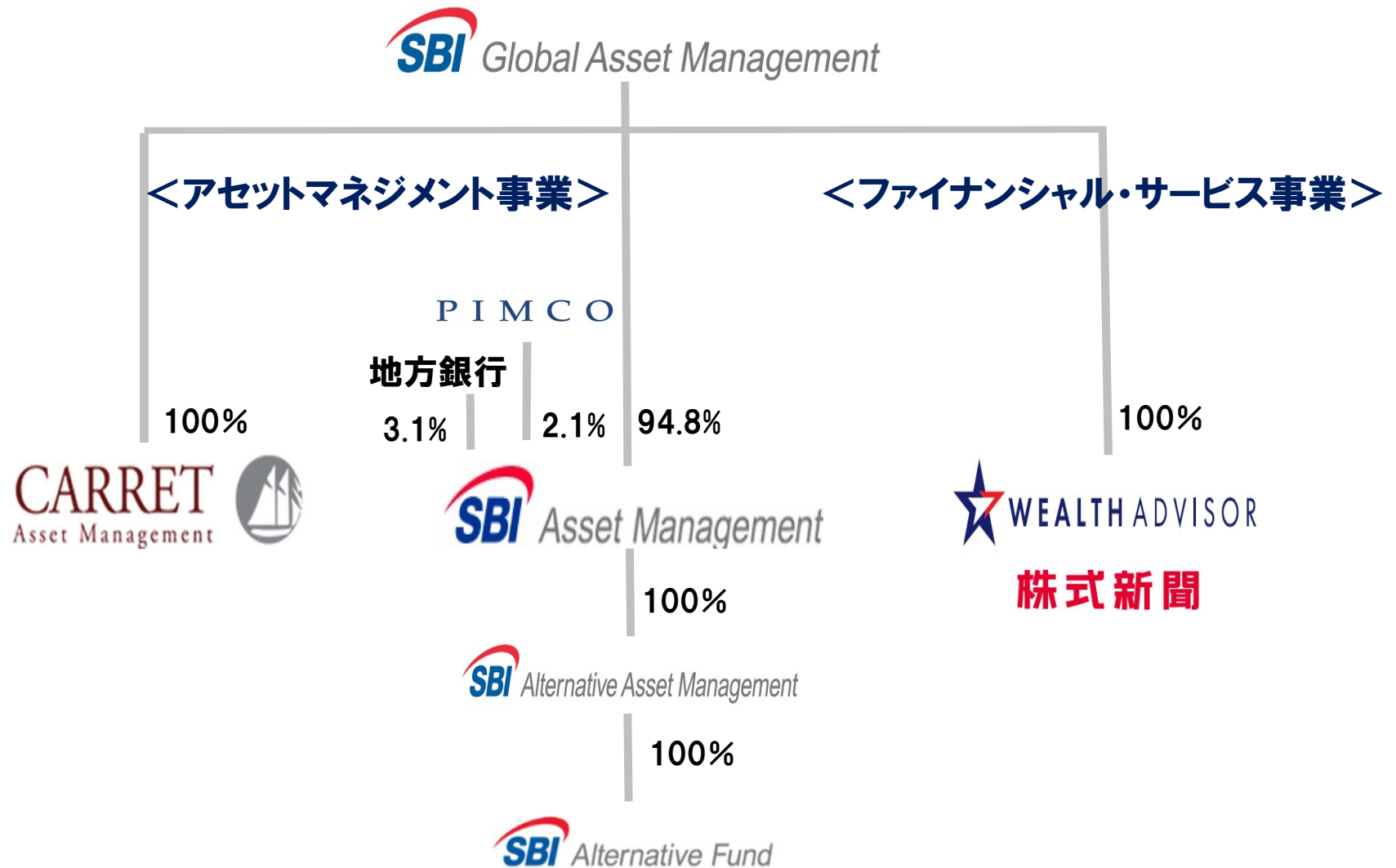
# 株主還元積極的に取り組み、株主数は大幅に増加

## 積極的なIR活動と株主還元の更なる拡充により株主価値向上に務める



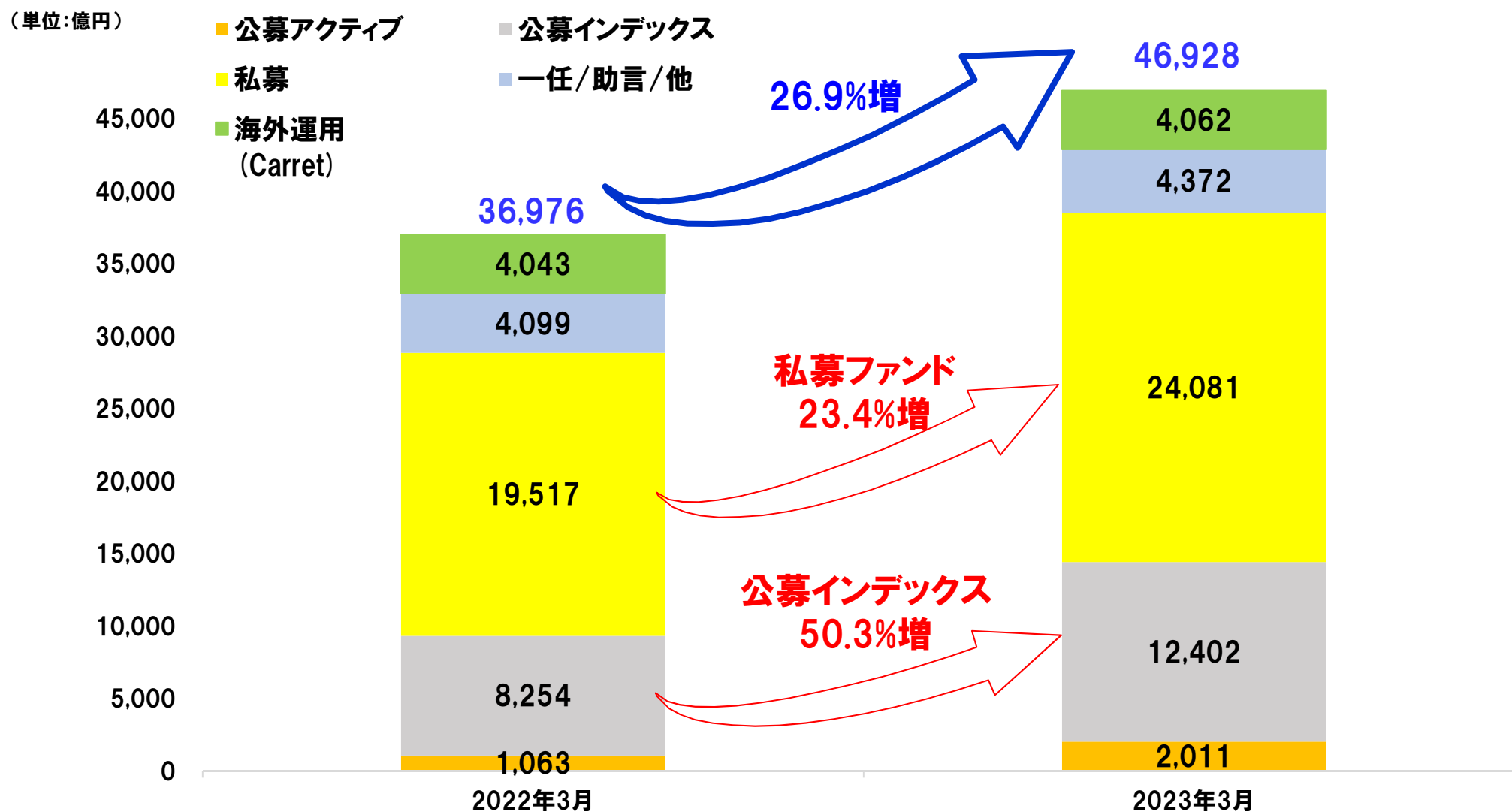
# 公募・私募ともに運用残高が拡大する 「アセットマネジメント事業」

# 再編後の当社グループの体制



# 当社グループの運用残高の推移

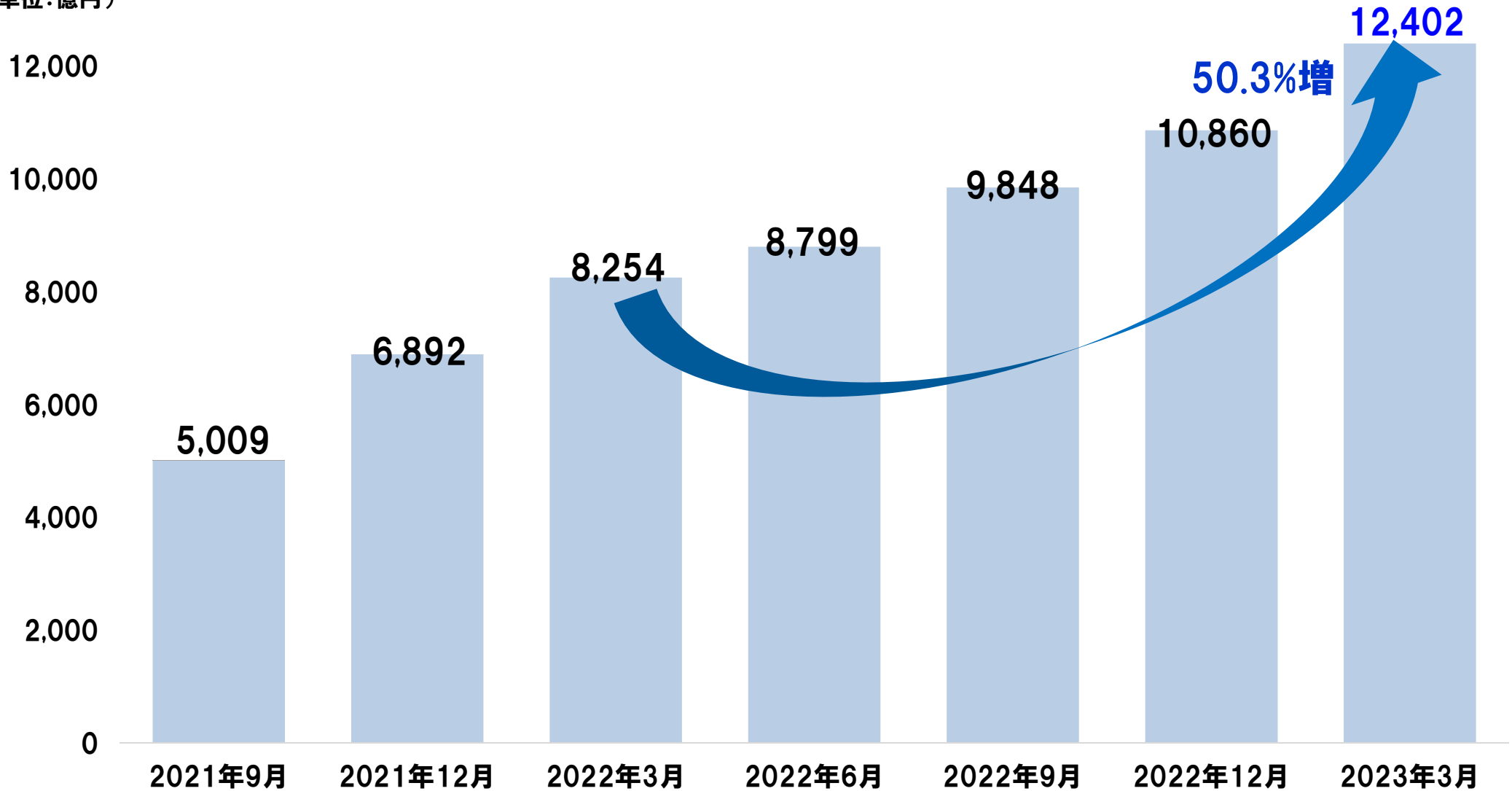
2023年3月末の運用残高は約4.7兆円、前年同月比26.9%の増加



※ 2023年月3末の残高は、新生インベストメントの運用残高を含む。

# SBIアセットのインデックスファンドの運用残高の推移

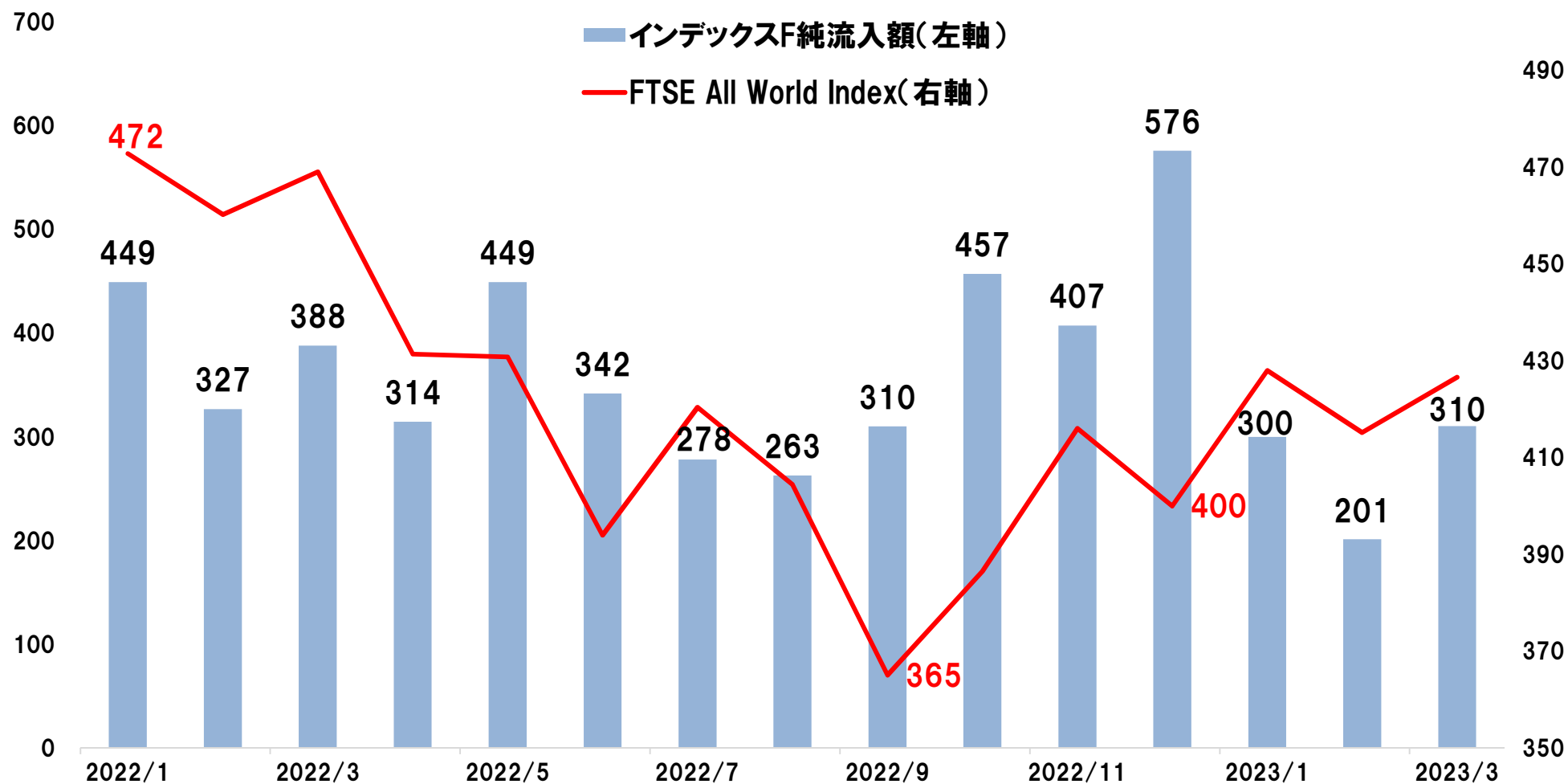
(単位:億円)





# SBIアセットのインデックスファンドの月次純資金流入額

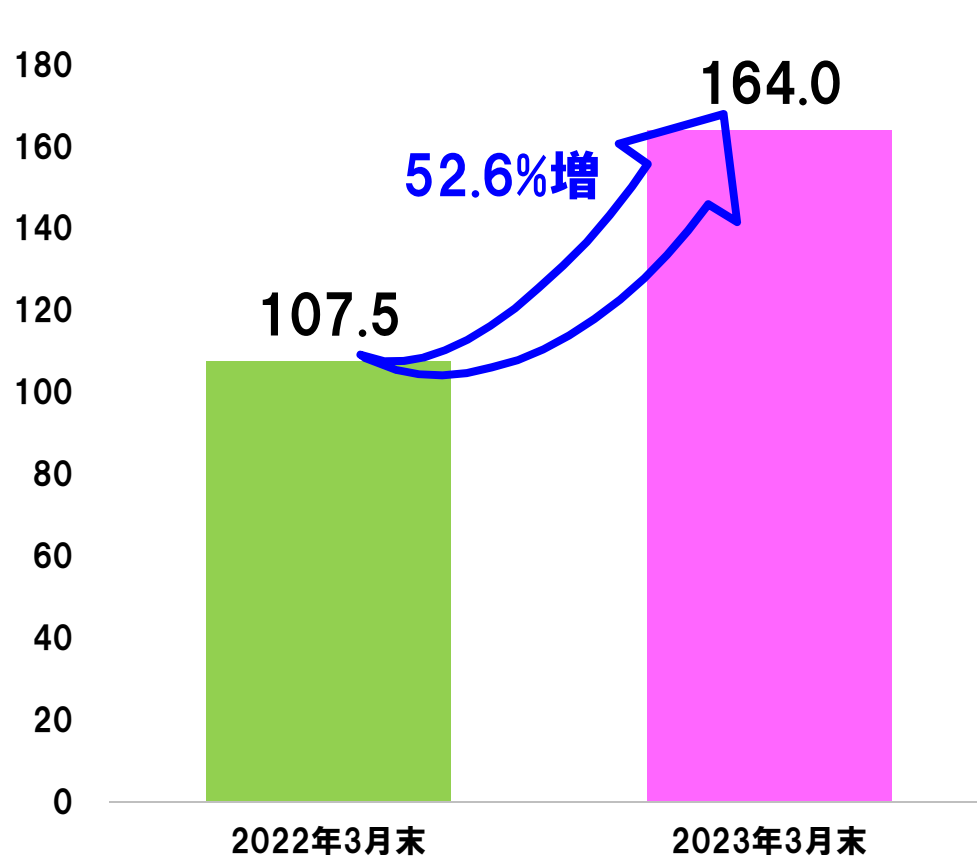
世界的に厳しいマーケット環境においても、安定して資金が流入



# SBIアセットのインデックスファンドの受益者数と積立口座数

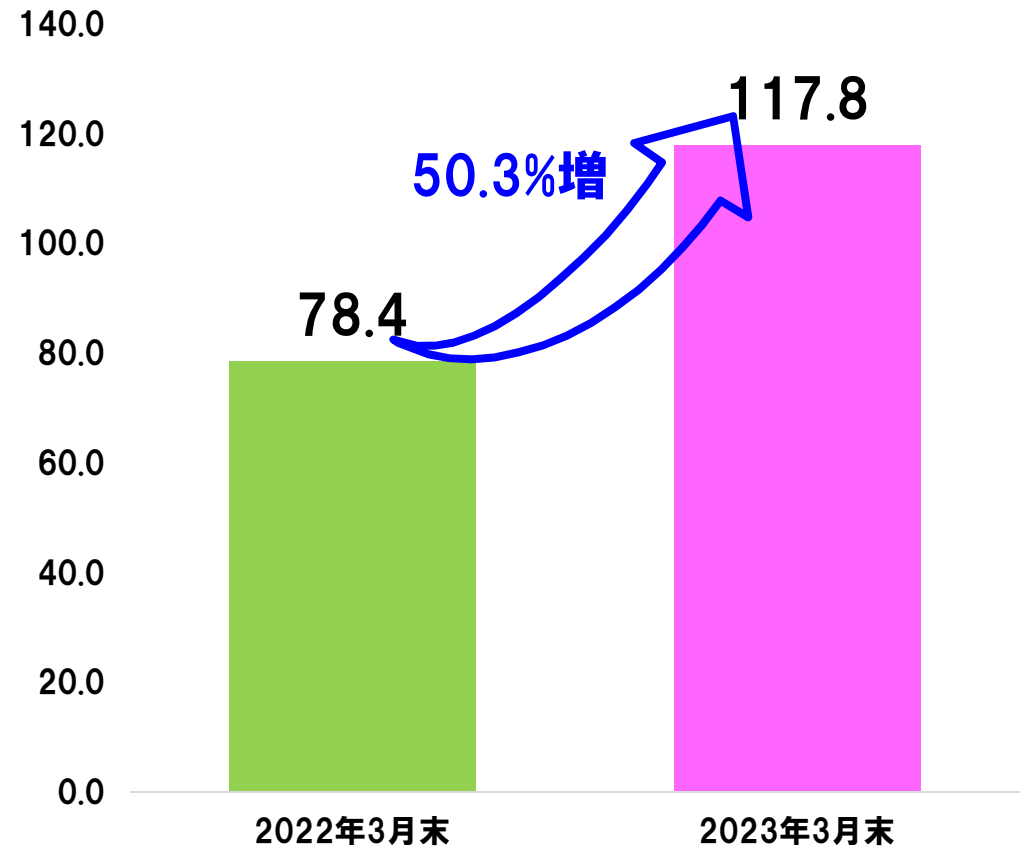
## <受益者数>

(単位:万人)



## <積立口座数>

(単位:万口座)



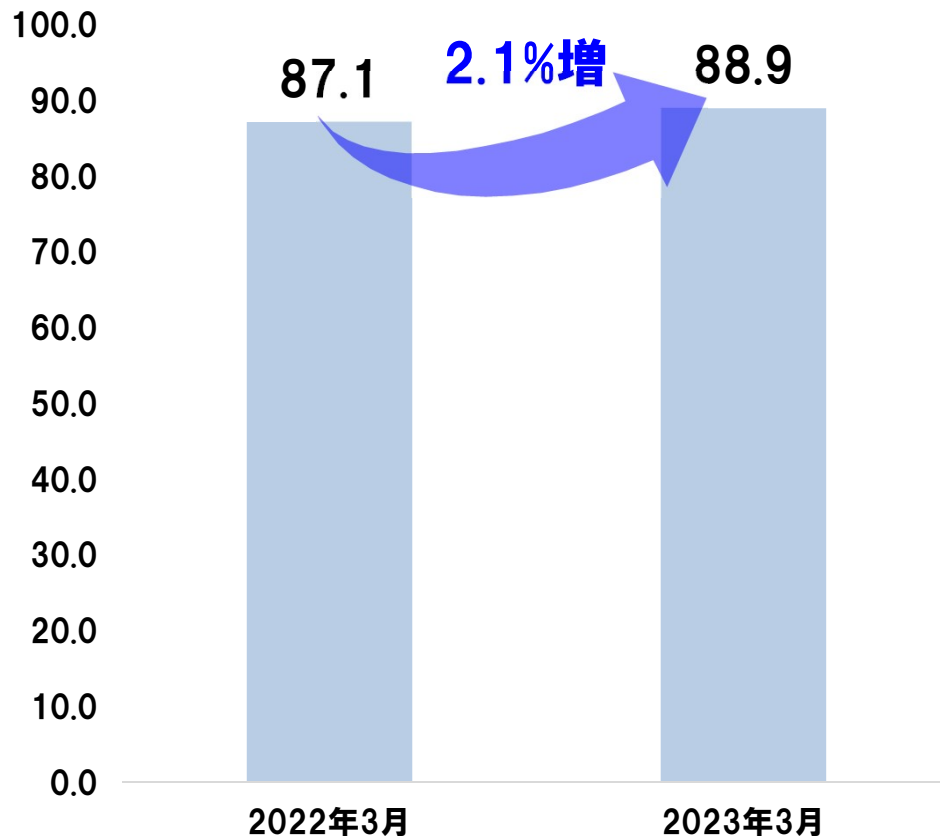
※ 受益者数と積立口座登録者数はSBI証券1社だけの数字

# 投信業界全体とSBIアセットの インデックスファンドの運用残高の伸び

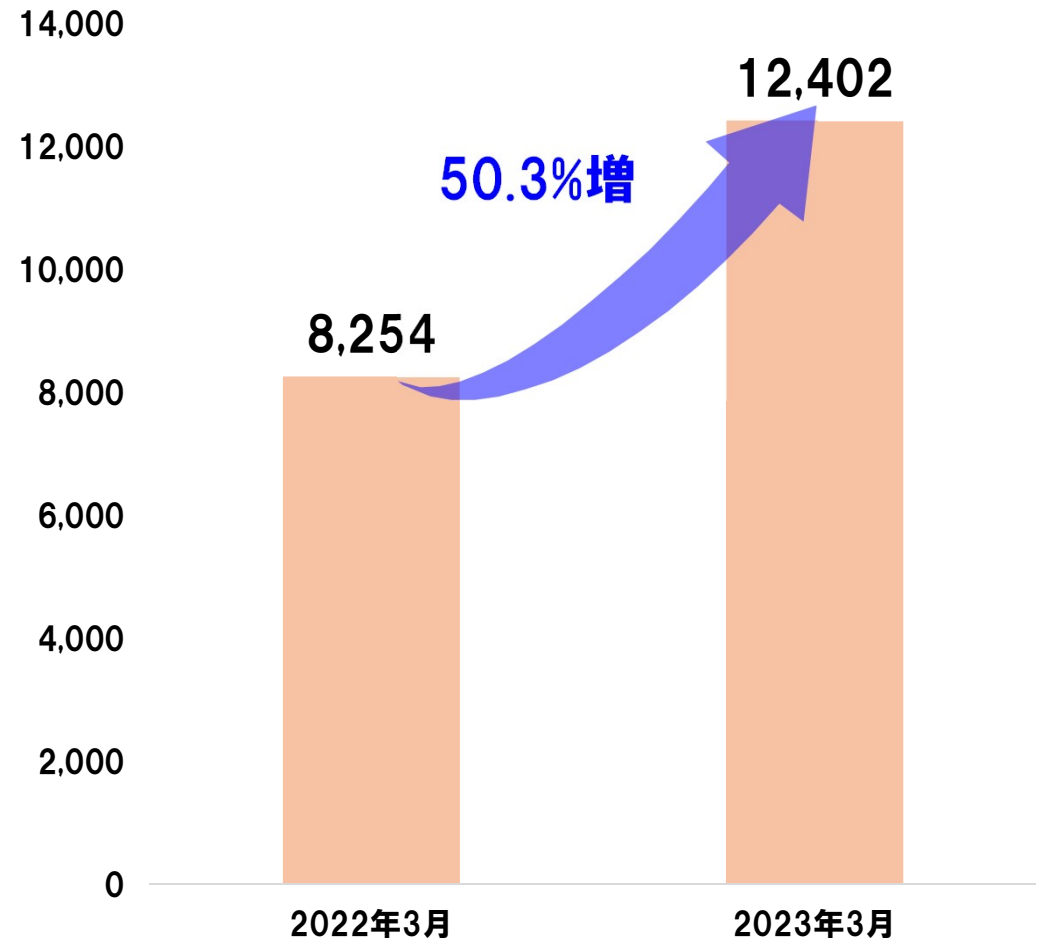
＜投資信託合計＞  
公募追加型株式投信（除＜ETF＞）

＜SBIアセットマネジメントのインデックスファンド＞

（単位：兆円）



（単位：億円）



# 公募インデックスファンドの純資金流入額ランキング

## (2022年4月～2023年3月)

順位	運用会社	純資金流入累計額 (億円)	ファンド数 (本)
1	三菱UFJ国際	17,993	163
2	SBIアセットマネジメント	4,295	17
3	野村	3,899	129
4	楽天	3,837	10
5	大和	3,279	131
6	アセマネOne	2,336	89
7	三井住友DS	2,326	68
8	ニッセイ	1,294	49
9	三井住友TAM	1,162	89
10	日興	1,094	33
	30社合計	43,390	932

※ 国内公募追加型株式投信(ETF等除く)のうち、投信協会基準でインデックスに属するファンド

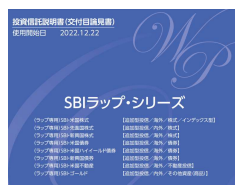
※ ファンド数は2023年3月末時点

# SBIアセットマネジメントが運用するファンドの 「SBIラップ」と「SBIラップ X (クロス)」は450億円突破

2022年10月20日スタートのSBI 新生銀行販売の  
「SBIラップ X (クロス)」は70億円を突破

## <SBIラップ>

(2022/3/31~2023/4/14)



## <SBIラップX(クロス)>

(2022/10/20~2023/4/14)

(単位:件数)

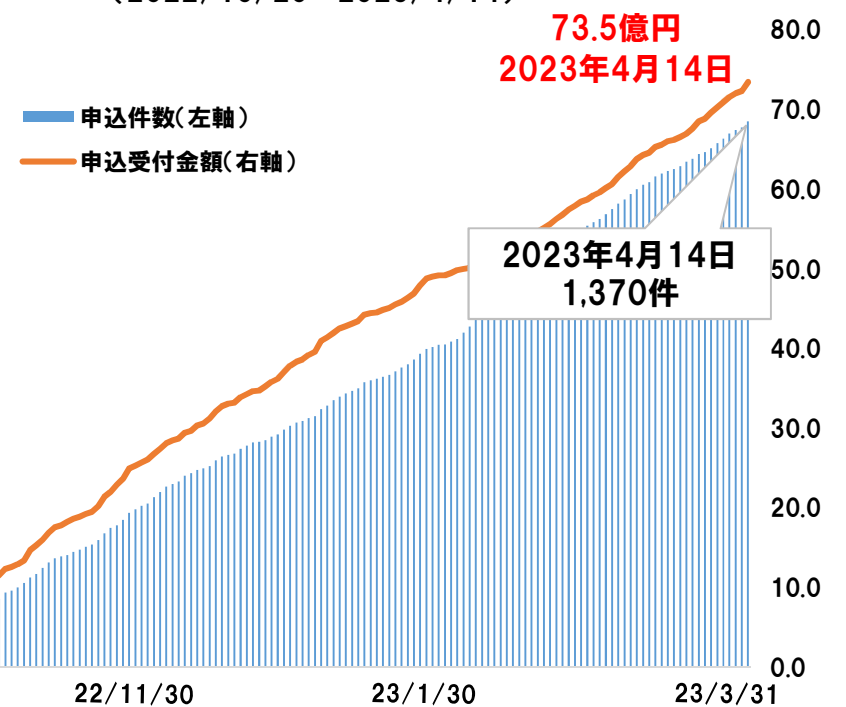
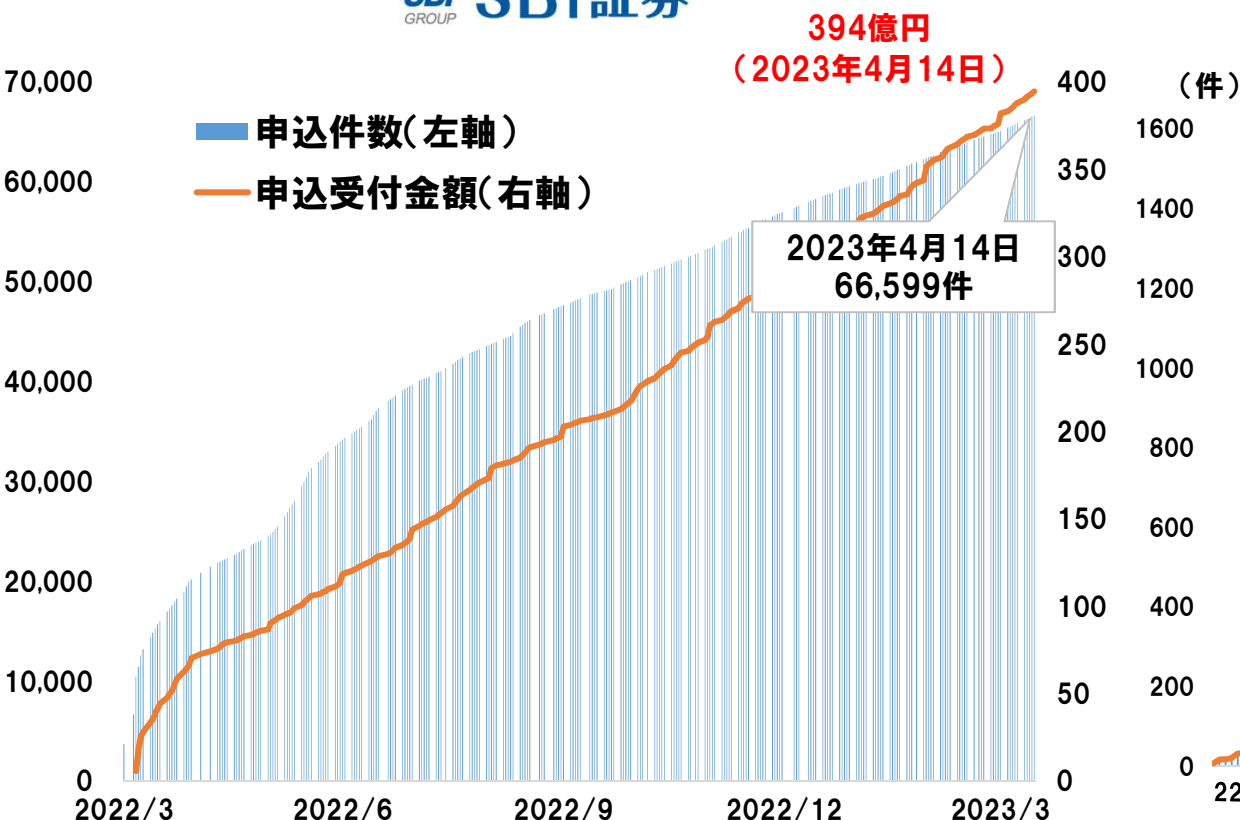


(単位:億円) (単位:件数)

(単位:億円)



「SBIラップ×SBI新生銀行」  
(2022/10/20~2023/4/14)

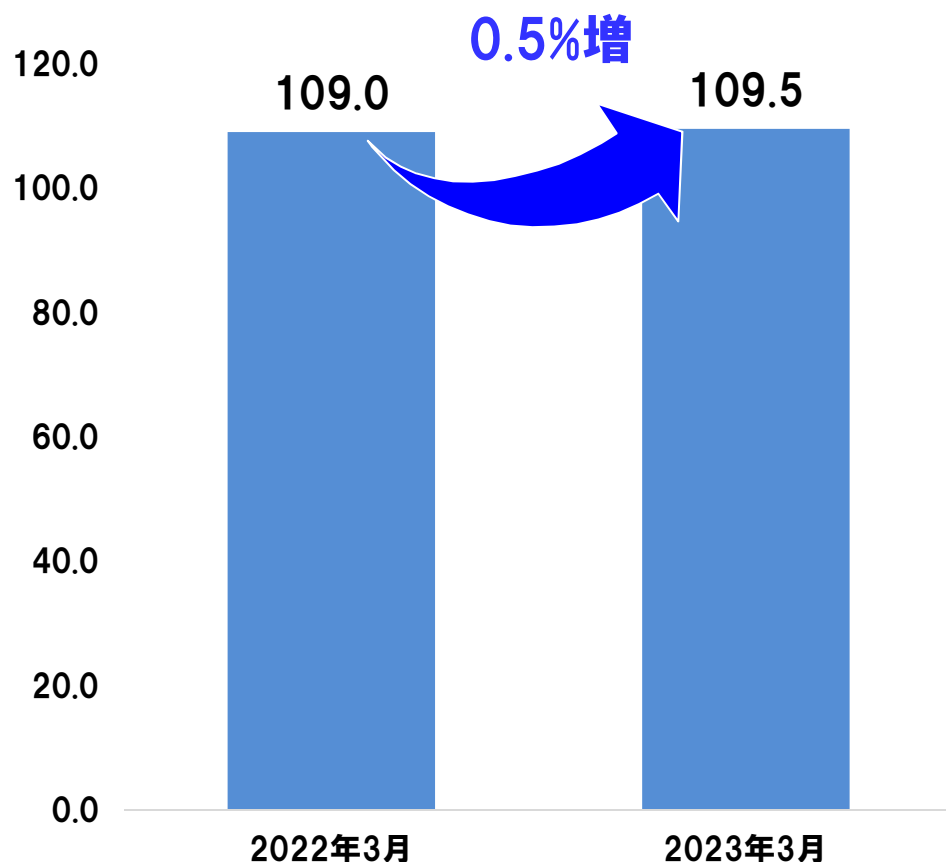


# 投信業界全体とSBIアセットの私募ファンドの残高の伸び

2023年3月末のSBIアセットマネジメント受託の私募ファンドは約2.4兆円、  
前年同月比23.4%の増加

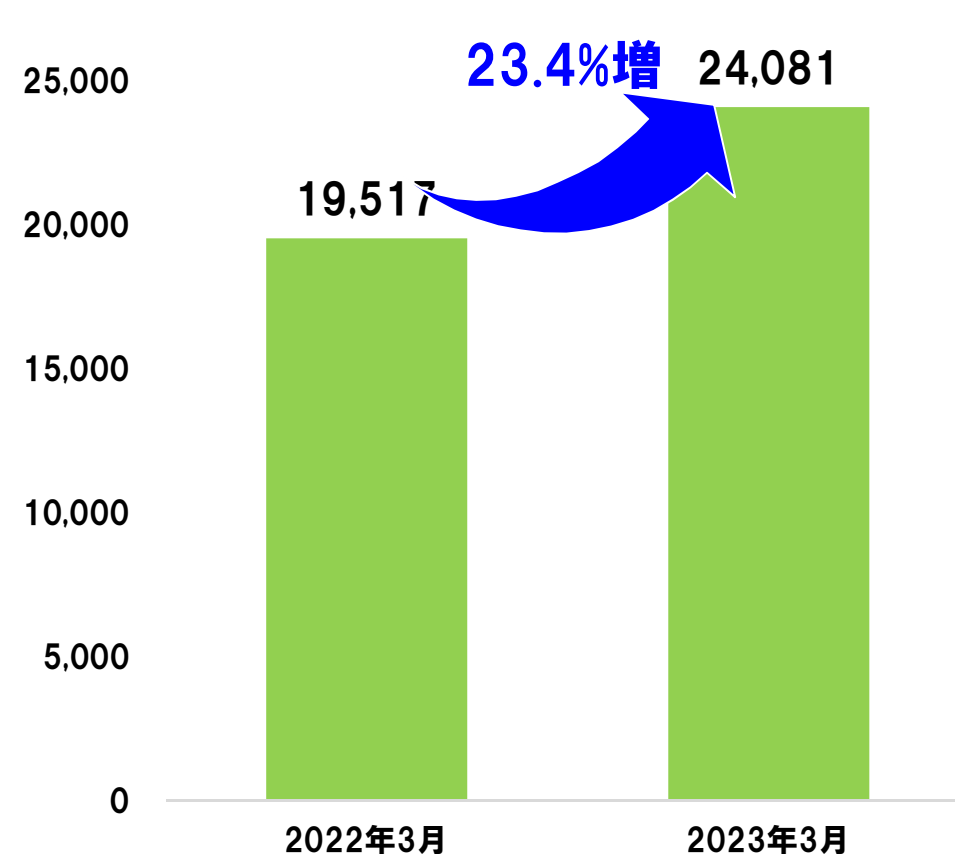
## <投信業界全体の私募ファンド残高>

(単位:兆円)



## <SBIアセットの私募ファンドの運用残高>

(単位:億円)

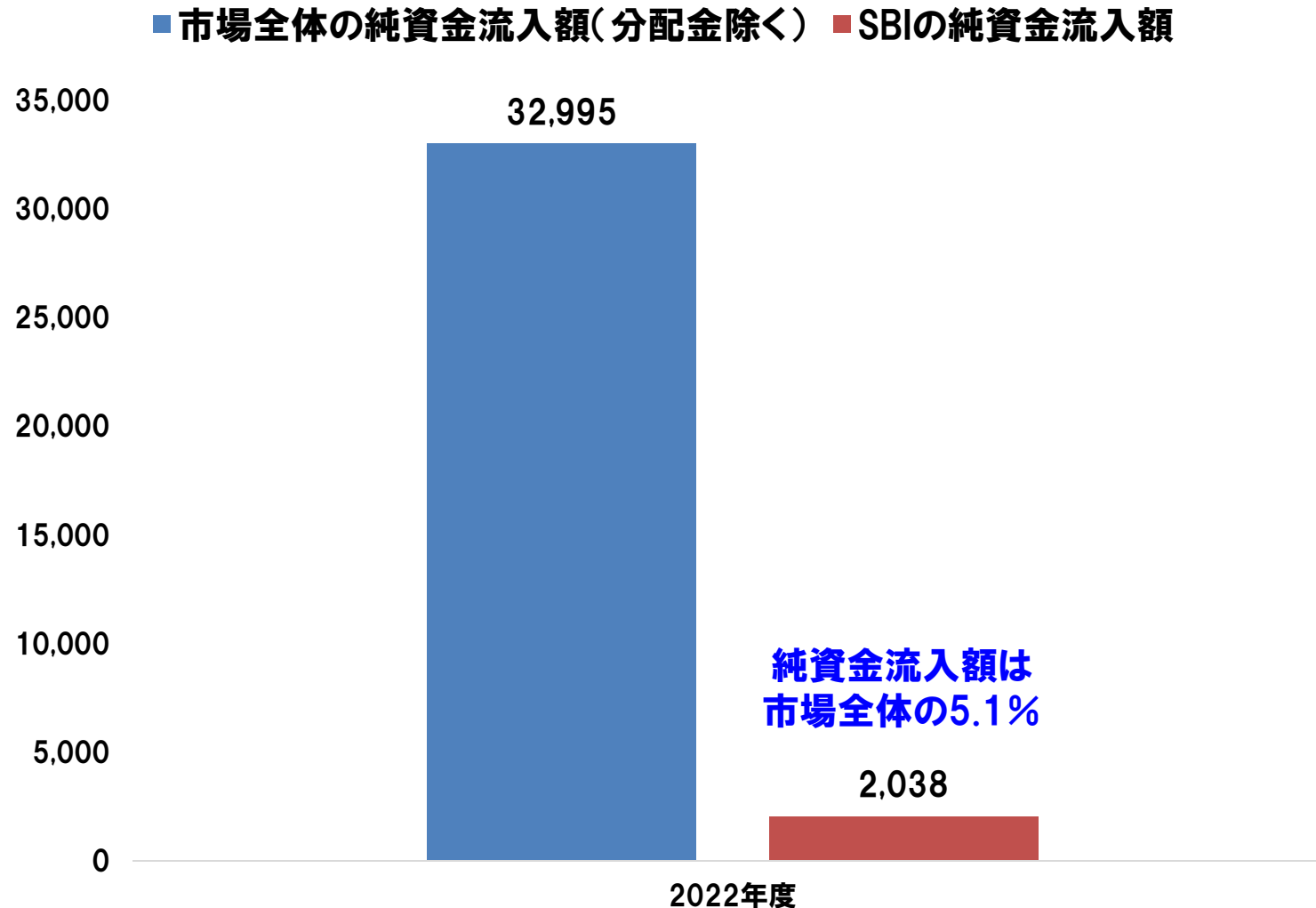


※ SBIアセットの私募投信の運用残高は機関投資家向けの一任運用残高も含む。

# 私募投信における業界全体とSBIアセットの純資金流入額

SBIアセットの私募投信の純資金流入額は、全体の5.1%

(単位:億円)



# 私募ファンドの純資金流入額ランキング

(2022年4月～2023年3月)

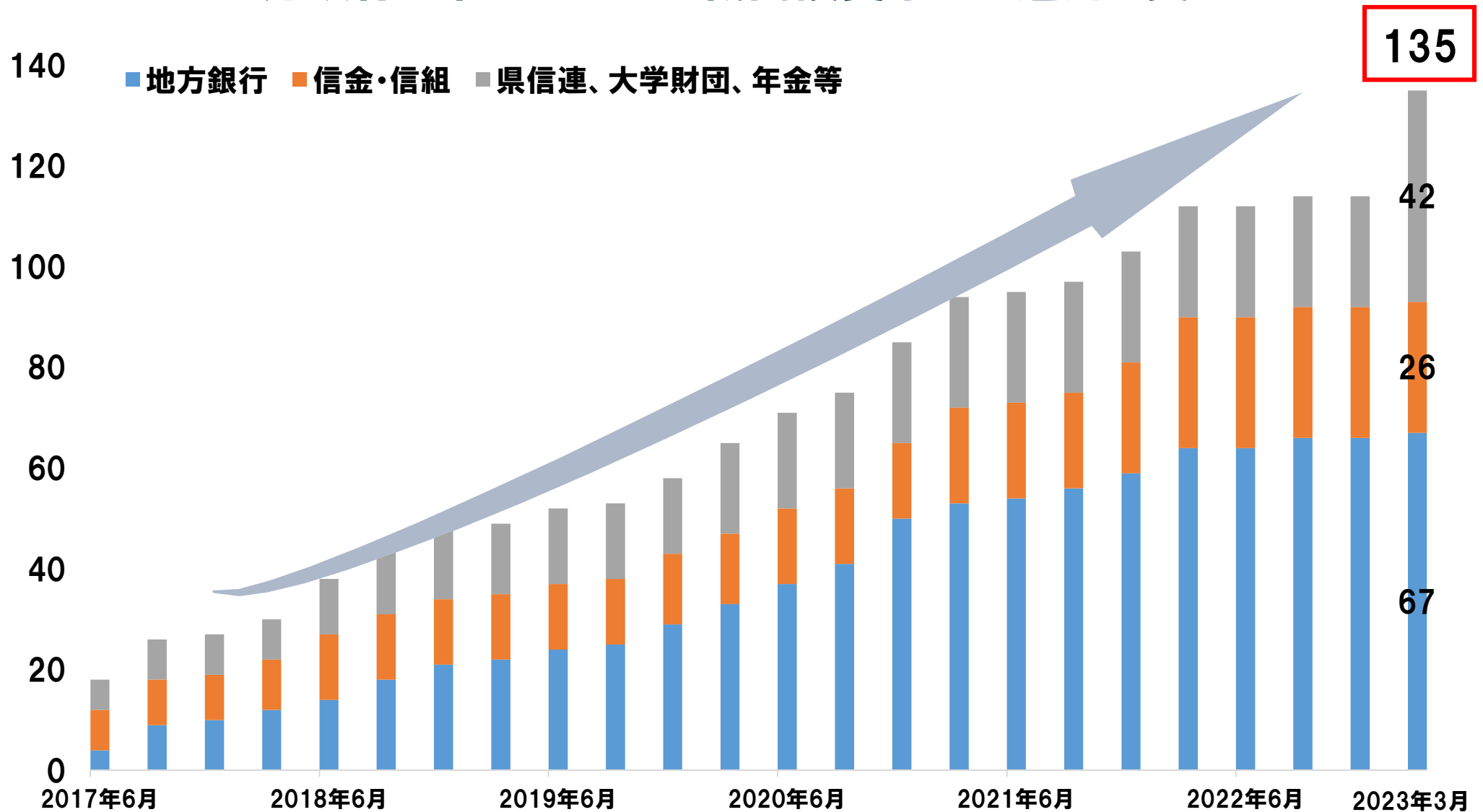
(単位:億円)

	運用会社	設定額 (A)	解約額 (B)	償還額 (C)	資金増減額 (D) = (A) - ((B) + (C))
1	三菱UFJ国際	60,985	33,212	6,757	21,017
2	東京海上	25,579	10,193	1	15,385
3	インベスコ	13,699	2,360	839	10,500
4	バークレイズ	5,646	1,307	106	4,232
5	ゴールドマン	5,668	1,731	505	3,432
6	農中全共	17,632	14,249	192	3,191
7	大和	9,503	6,838	19	2,647
8	ピムコ	5,984	3,693	168	2,123
9	ニッセイ	22,709	20,243	400	2,067
10	SBIアセットマネジメント	6,117	3,629	450	2,038
11	りそなAM	3,511	1,585	0	1,927
12	ベイビュー	1,705	67	12	1,626



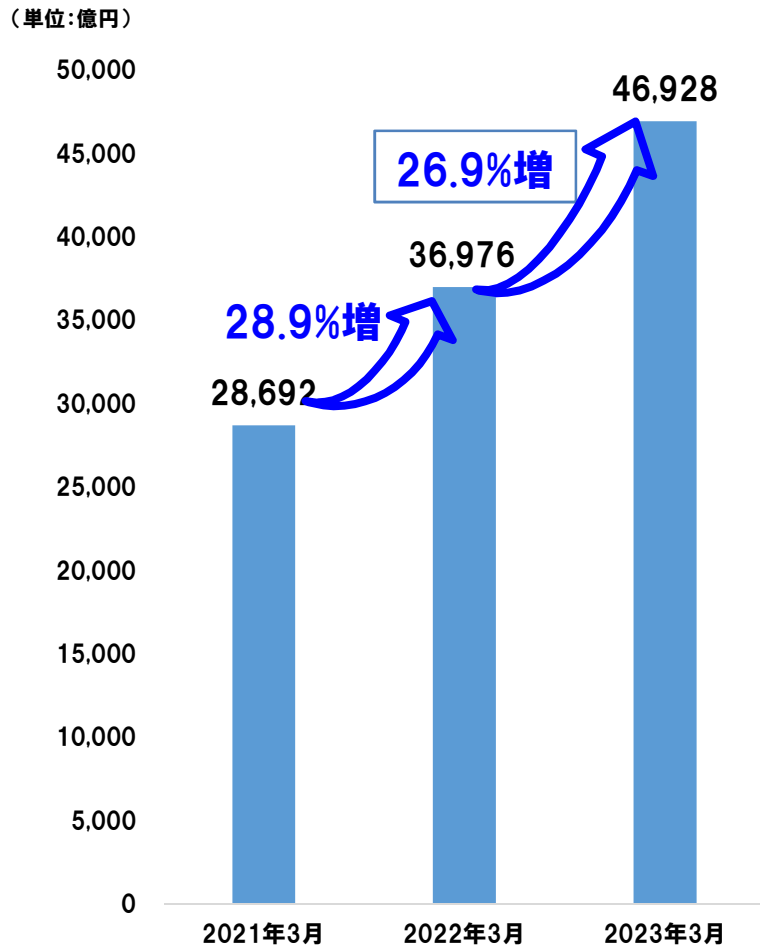
# SBIアセットの運用受託社数の推移

地方銀行を中心に135の機関投資家から運用を受託

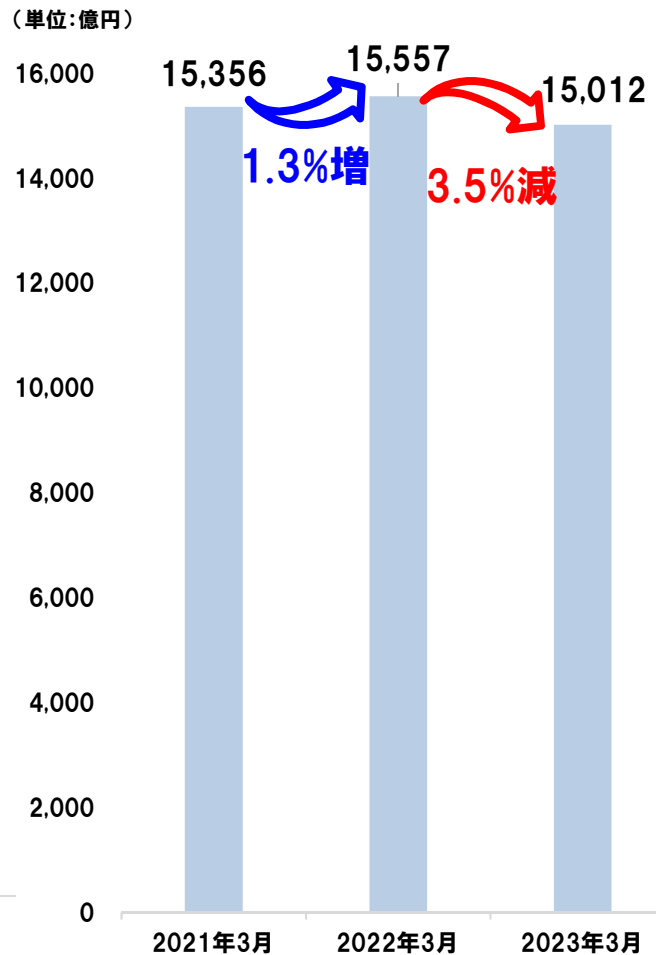


# 上場運用会社との運用残高の比較

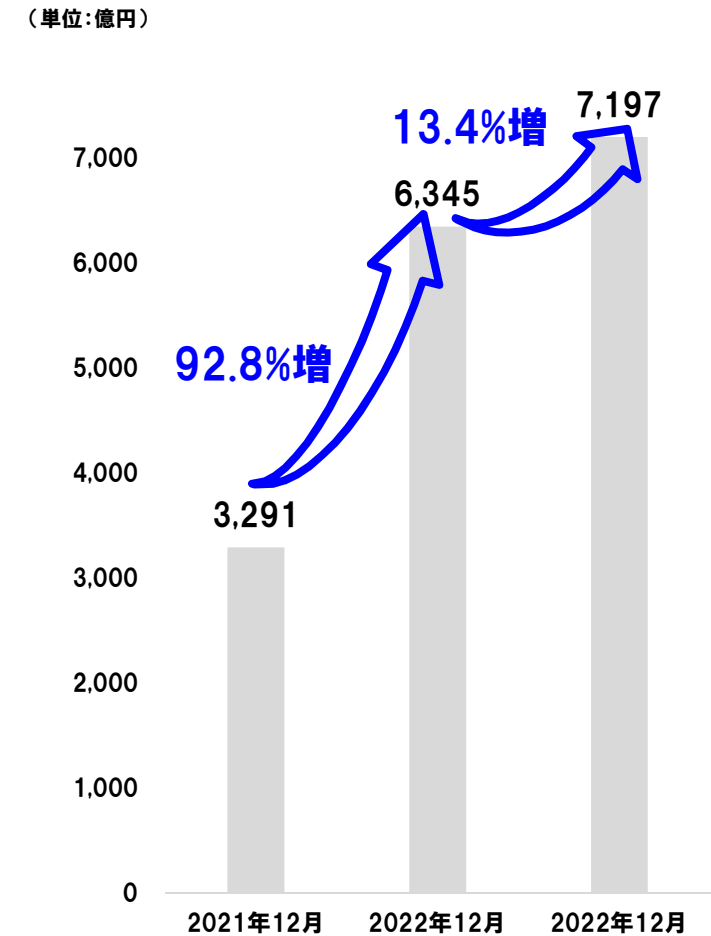
## <SBIグローバルアセットマネジメント>



## <スパークス・グループ>



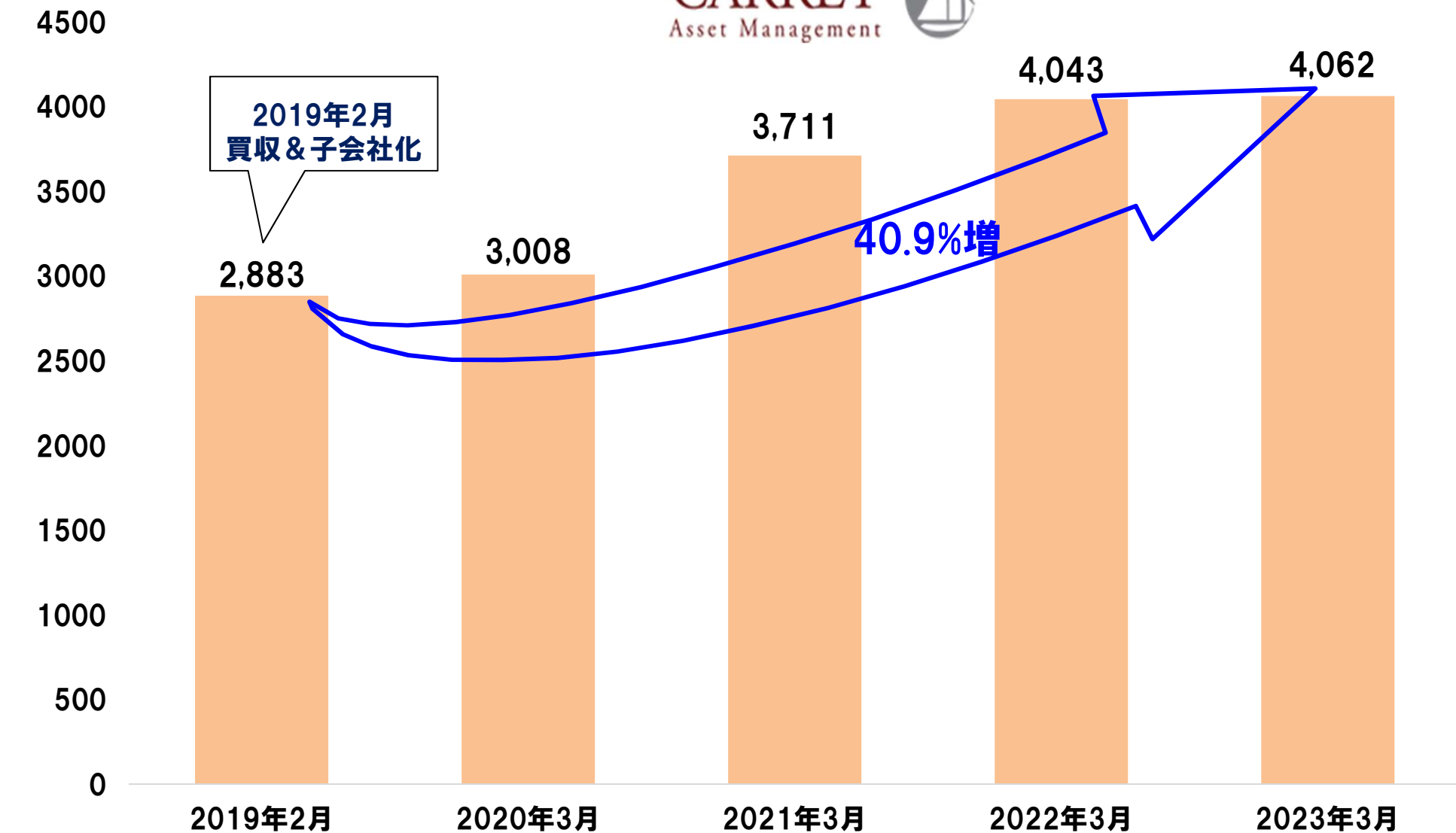
## <ウェルスナビ>



※ウェルスナビは12月期決算数値

# 米国Carretアセットマネジメントは当社買収後に 大幅に運用残高を伸ばす

(単位:億円)



**FD(顧客本位の業務運営)で  
一層当社商品・サービスのニーズが拡大する  
「ファイナンシャル・サービス事業」**

# 「ウェルスアドバイザー」の事業は データ&ツール提供を中心としたプラットフォームビジネスへ



環境変化	金融機関 & 投資家の変化	当社のソリューション
フィデューシャリー・デューティー (顧客本位の業務運営)の順守	プロダクト・アウトからゴールベース・アプローチへ	「Wealth Advisor」 「ライフプラン・シミュレーション」
対面金融機関のネット販売の一層の拡大	オンライン・アプリの強化	オンラインコンテンツ
投資教育の促進	投資家のリテラシーの向上	資産運用関連アプリ 「My投資信託」 「My仮想通貨」等
NISA/iDeCo等の制度推進	投資家層の拡大	資産運用セミナー

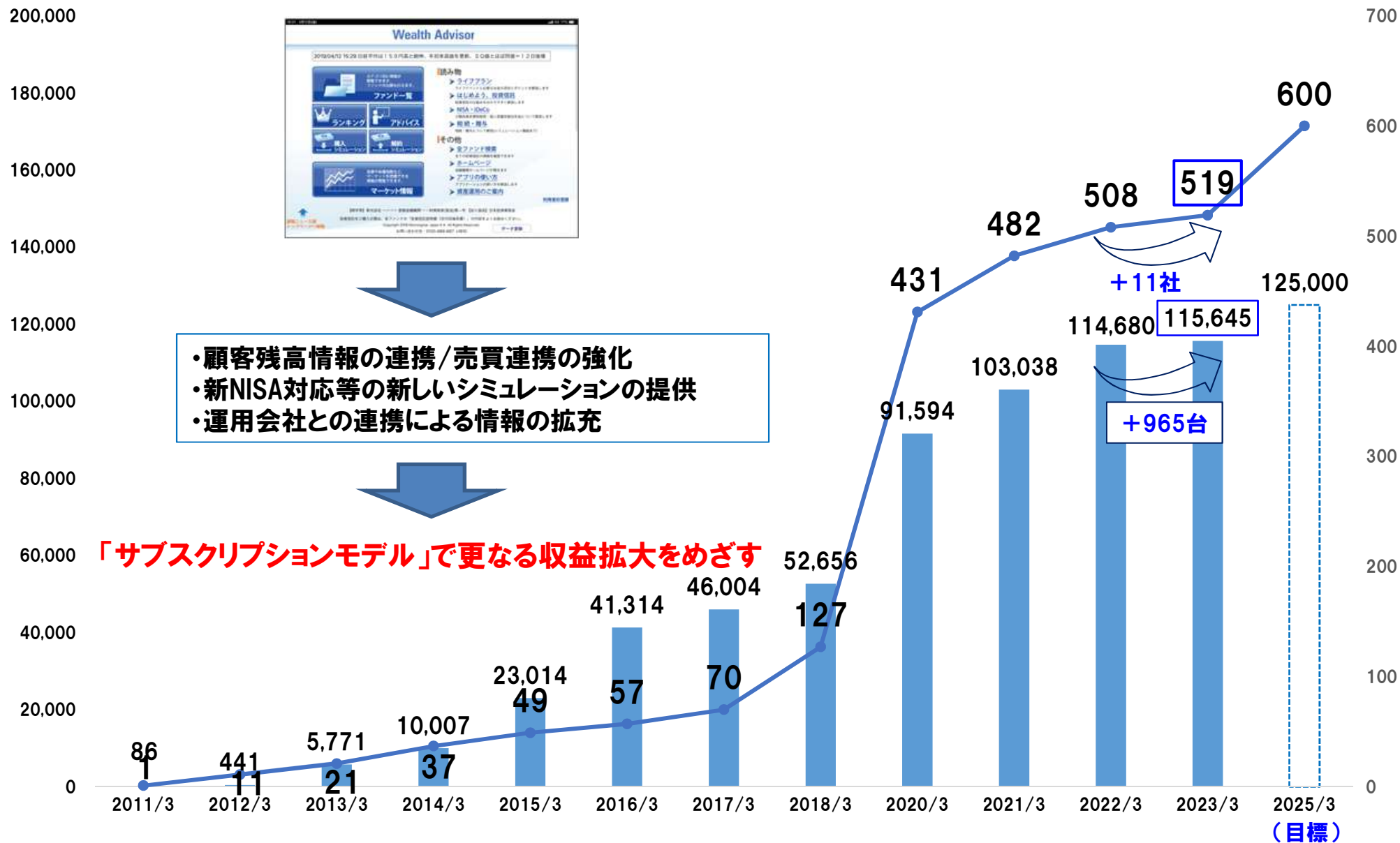


「投資家主権の確立」に貢献

# 「Wealth Advisor」は台数増から、高付加価値提供による 収益拡大を目指す

(単位:提供台数)

(単位:提供社数)



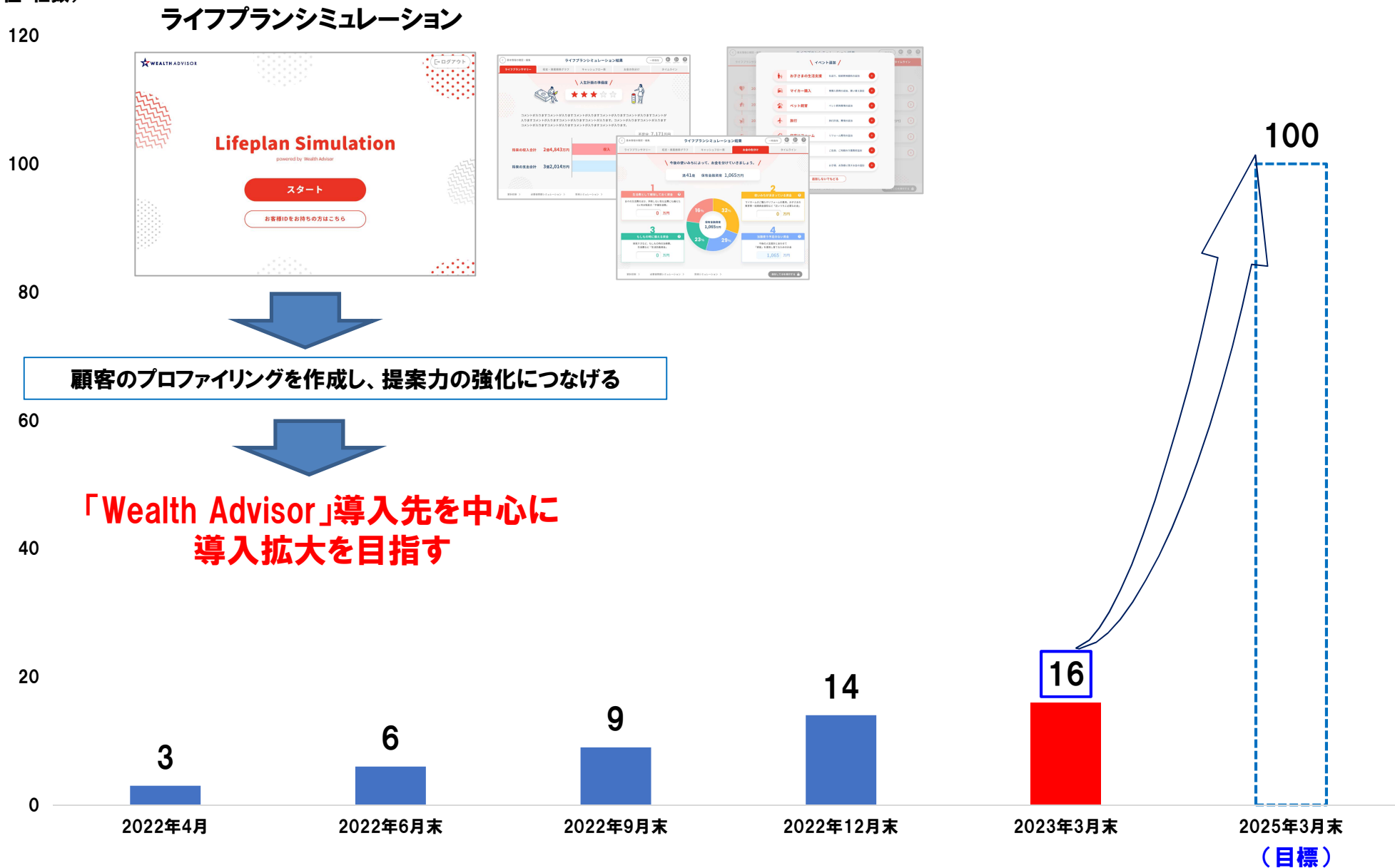
- 顧客残高情報の連携/売買連携の強化
- 新NISA対応等の新しいシミュレーションの提供
- 運用会社との連携による情報の拡充

「サブスクリプションモデル」で更なる収益拡大をめざす

(目標)

# 販売金融機関の「ゴールベースアプローチ」を支援する、「ライフプランシミュレーション」の提供

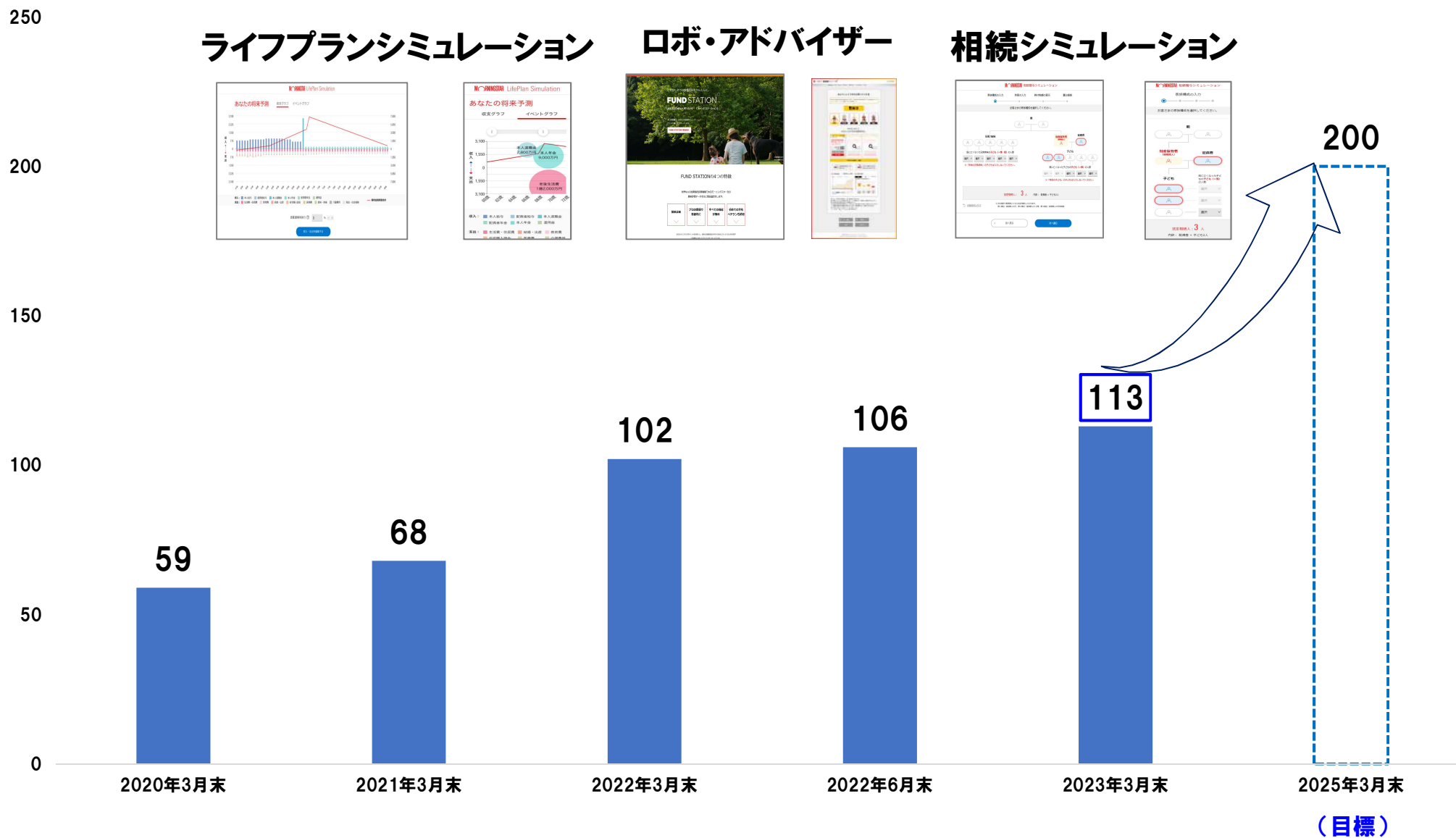
(単位:社数)



# 対面販売金融機関のオンラインコンテンツ強化の支援

金融機関のウェブサイト・スマートフォン向けに当社独自のオンラインコンテンツを提供

(単位:社数)





# 顧客情報連携(CRM連携)は「Wealth Advisor」に加え、 ライフプランシミュレーションやオンラインコンテンツからも 接続ニーズが増加

金融機関サーバー



顧客情報連携

ポートフォリオ提案

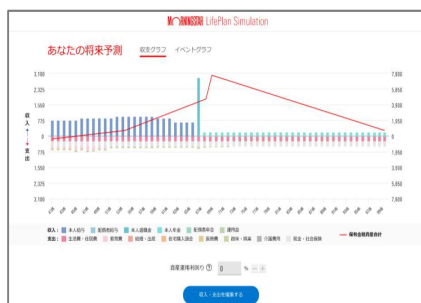


現在のCRM連携

ライフプランニング

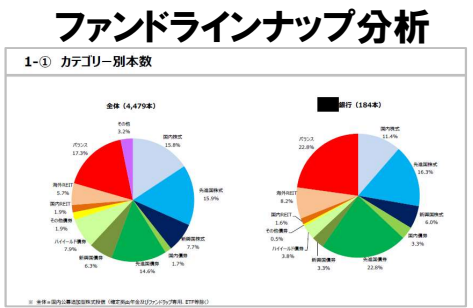
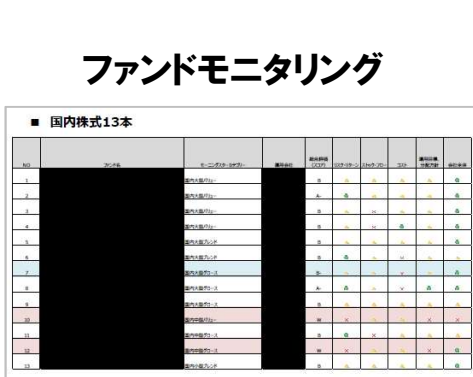


オンラインコンテンツ

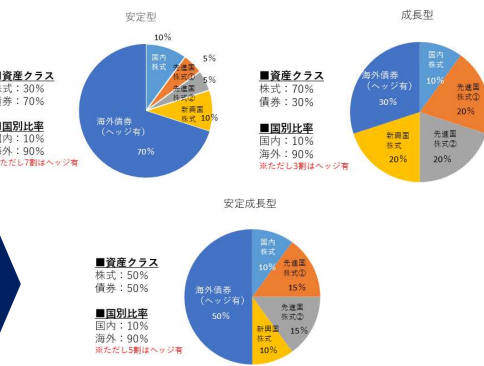


今後大きな  
ニーズが見込まれる

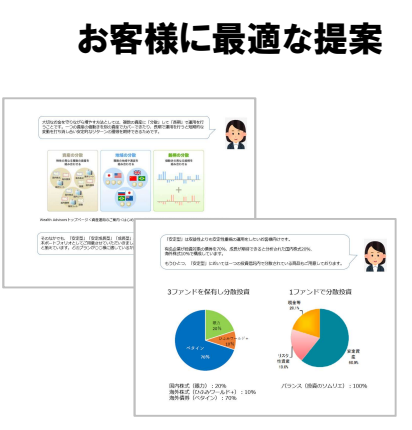
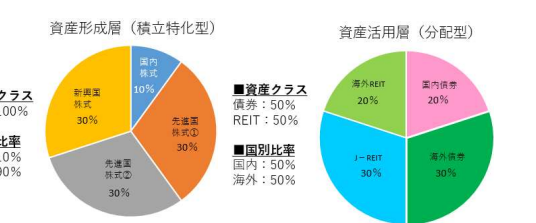
# 販売金融機関向けにオリジナル「ファンドラップ」の提供支援



## 基本ポートフォリオ(例) (安定・安定成長・成長)



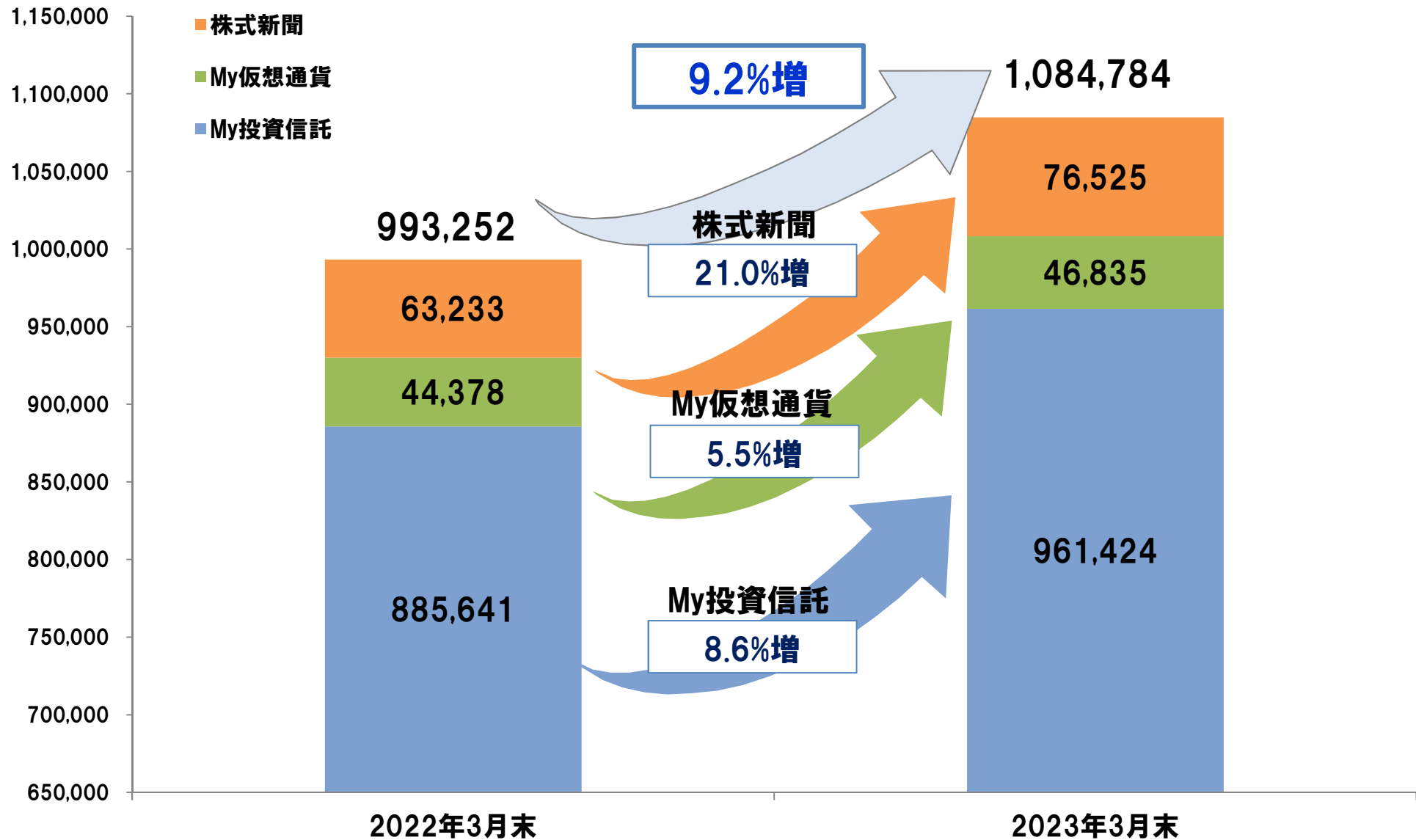
## 対象別ポートフォリオ(例) (資産形成層向け、分配重視型)



# 100万人超のユーザーに引き続き 中立・客観的な豊富で偏りのない情報を提供

「My投資信託」「My仮想通貨」「株式新聞」アプリをバージョンアップ

(単位:DL)



# 資産運用イベントは全国各地で開催予定

## 2023年3月にふくおかフィナンシャルグループと合同開催

投信フェア2023in福岡(2023年3月21日(祝・火))

参加者数:1,954名(うち、来場者120名/ネット1,834名)



- ・2023年7月15日(土)東京国際フォーラム  
【テーマ】新しいNISA
- ・2023年10月14日(土)東京ミッドタウン  
【テーマ】投信EXPO2023
- ・2024年1月20日(土)東京ミッドタウン  
【テーマ】新春カンファレンス2024

### <金融機関との共同開催予定>

- ・2023年 8月 A地方銀行(関東)
- ・2023年11月 B地方銀行(近畿)
- ・2023年11月 メガバンク(東京)
- ・2023年秋頃 C地方銀行(北海道・東北)

運用全般や個々の投資信託について、今まで分かっているあるいは知っているようで、実は理解が足りなかったことがわかり、今後の運用を行っていくうえで大変有益な機会でした。

朝倉さんの講演をモーニングスターのYouTubeで良く視聴していますが、本日生で講演を視聴出来大変有意義な時間を過ごせました。また、機会があれば参加したいです。

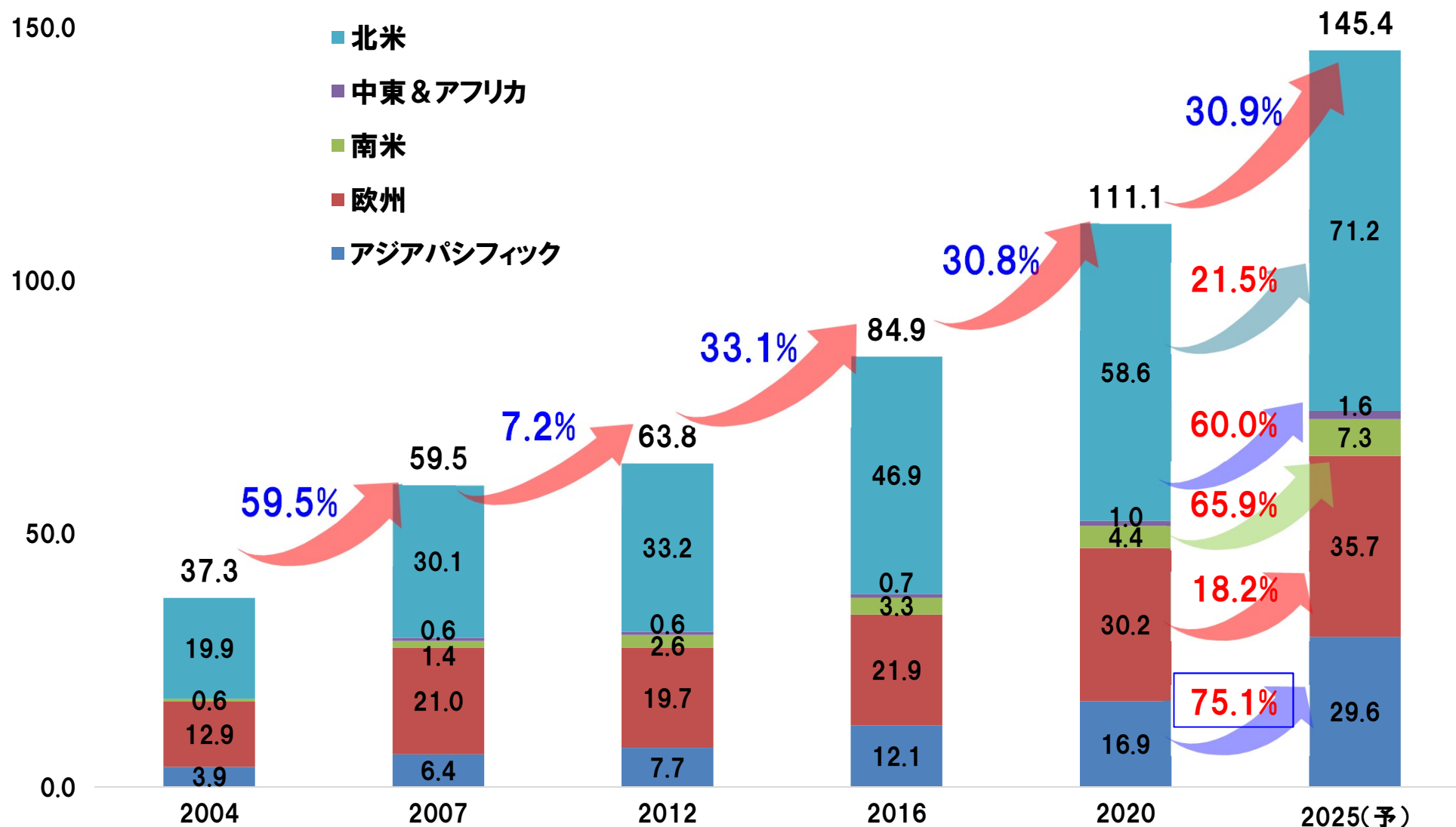
それぞれファンドの特長を知ることが出来て、今まであまり投資してなかったREITや債券の投資も学べて、投資の幅を広げられて良かったです。朝倉社長のお話も時代背景などもわかりやすく、とても勉強になりました。感謝致します。また参加したいです。ありがとうございました。

**「新しいNISA」を契機として加速する  
「貯蓄から資産形成・貯蓄から投資」において、  
最も成長性の高い企業となる！**

# 世界の資産運用残高の推移

世界の中で、日本を含むアジアパシフィックの成長性が最も高い

(単位:兆ドル)



# 最適な事業環境の到来を機に、 アセットマネジメント事業の一層の拡大を図る

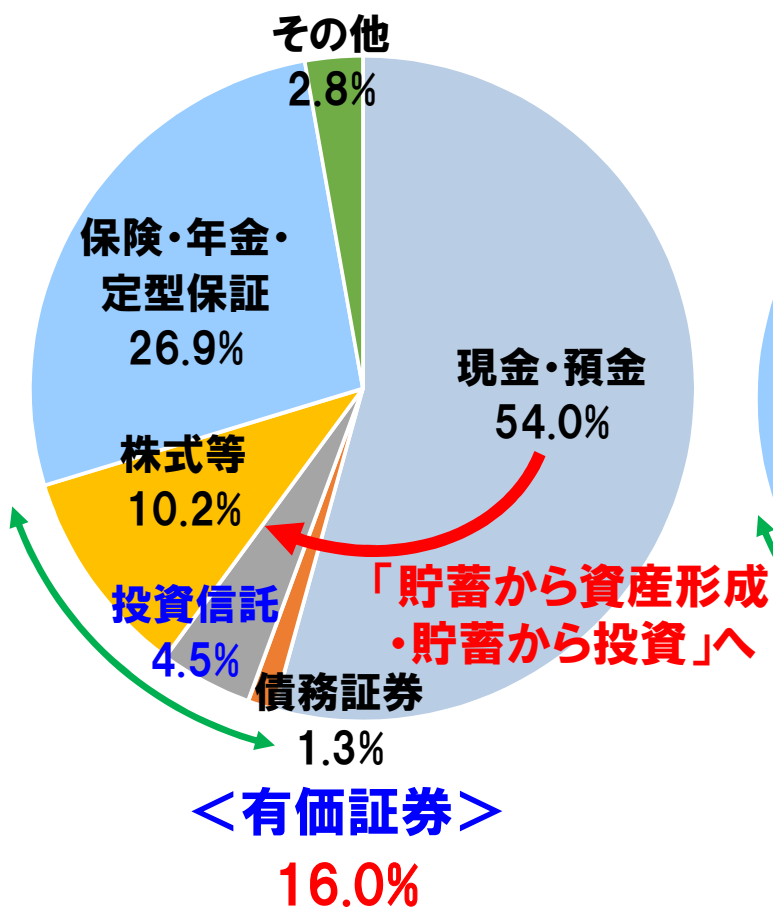
## ＜当社グループの事業環境の変化＞

- 1) 国内では「インフレの高進」と「資産所得倍増プラン」の施行により、「貯蓄から投資」「貯蓄から資産形成」が一気に加速する。
- 2) 欧米の景気後退が予測される中、アセットマネジメント会社のバリュエーションが低下し、M&Aの最適な機会が到来する。
- 3) アジア新興国の「中間層・富裕層」の拡大とともに、最適な資産運用の教育および商品提供のニーズが拡大する。

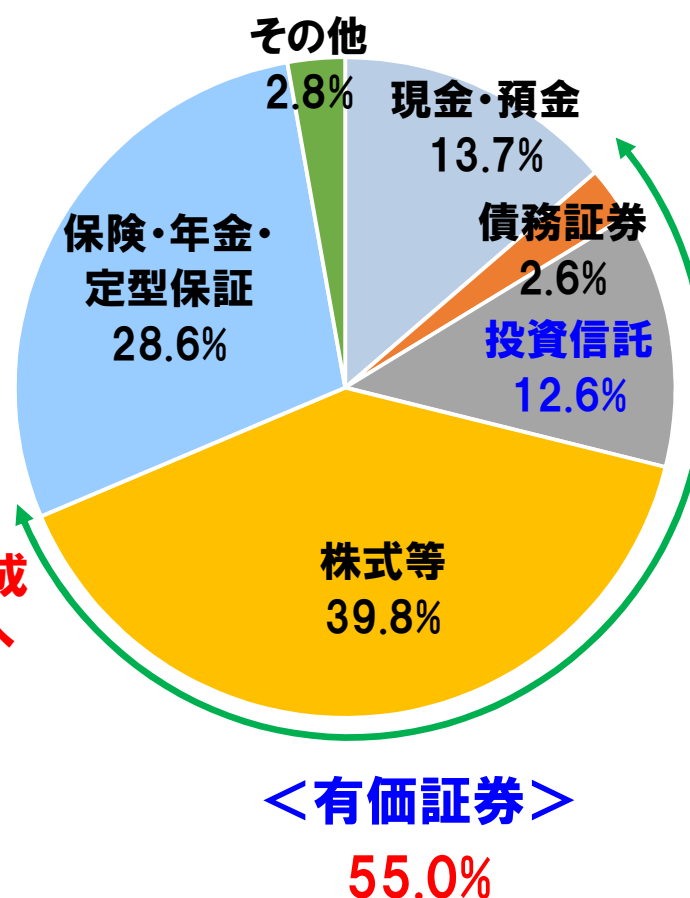


# 日本でも「貯蓄から投資」は加速する

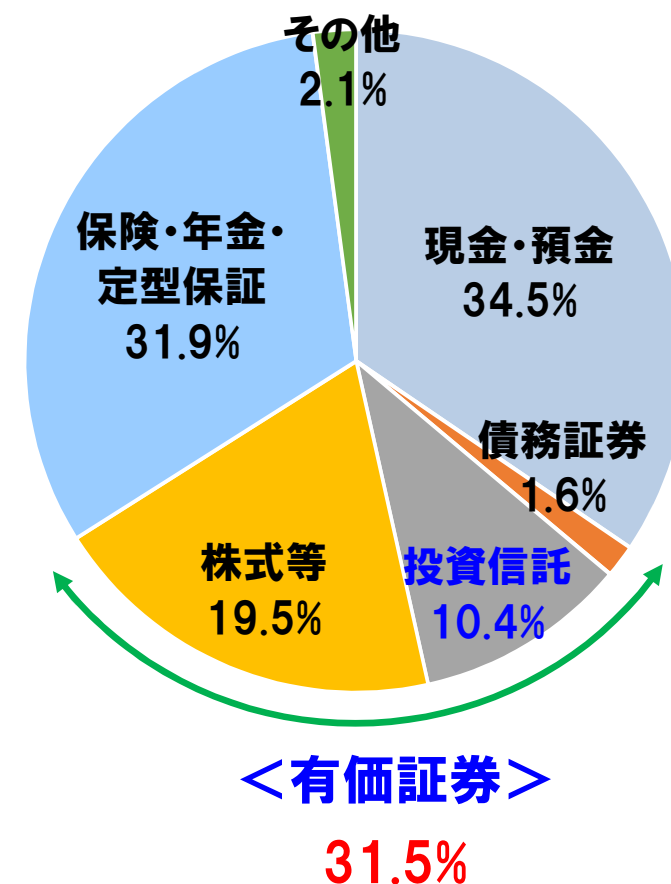
日本  
2,005兆円



米国  
115.5兆ドル



ユーロ  
28.6兆ユーロ





# 「資産所得倍増プラン」のポイント

## <NISA>

- 5年間で口座数を3,400万、投資額を56兆円に倍増
- 制度の恒久化、非課税期間の無期限化

## <iDeCo>

- 加入可能な上限年齢を70歳まで引き上げ
- 拠出限度額の引き上げなどは24年の公的年金の財政検証にあわせて結論

## <投資環境整備など>

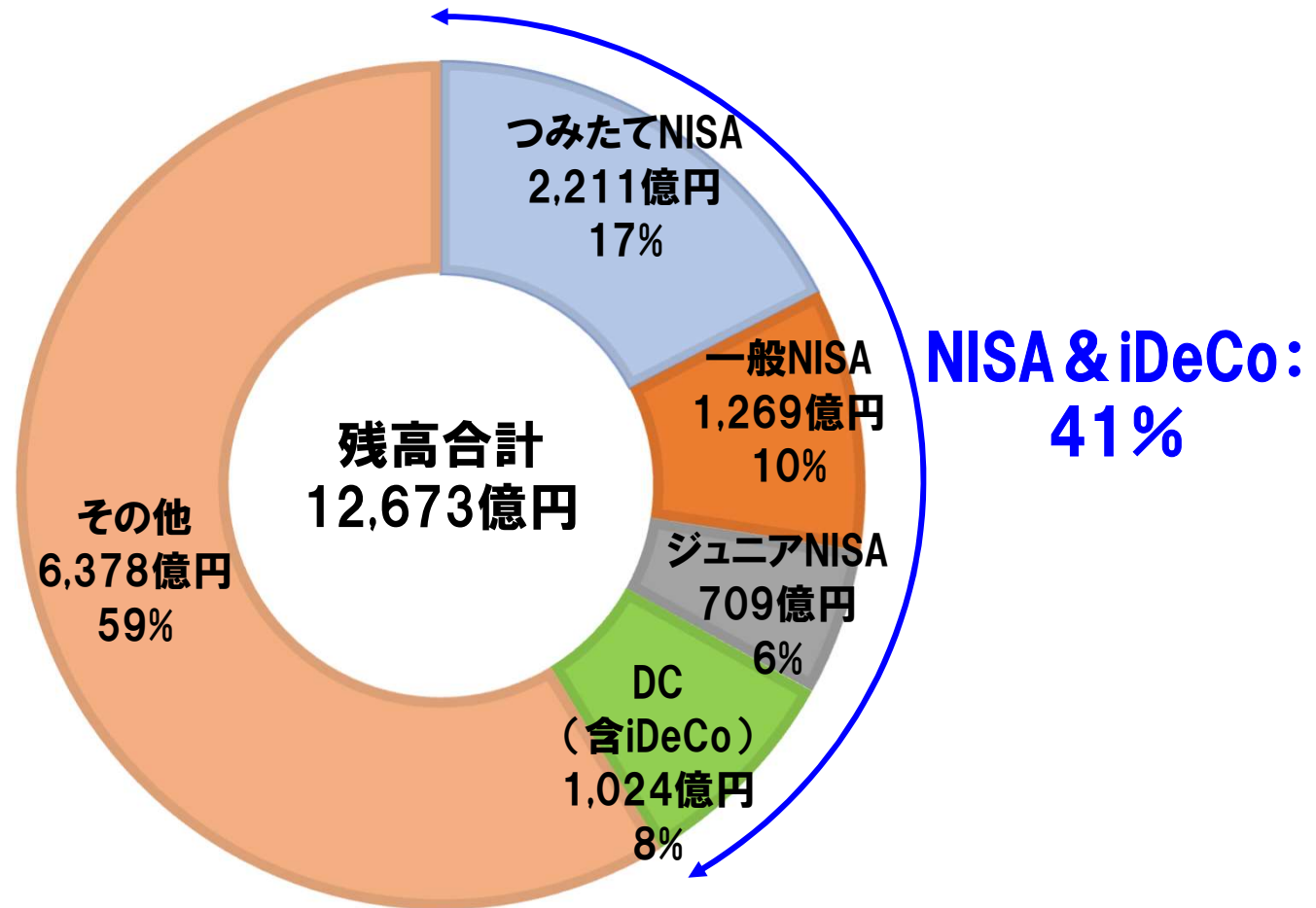
- 投資助言や金融教育の推進へ新機構設立

# 2024年から「新しいNISA」が始まる

「つみたて投資枠」と「成長投資枠」は併用可能(年間最大360万円投資可能)

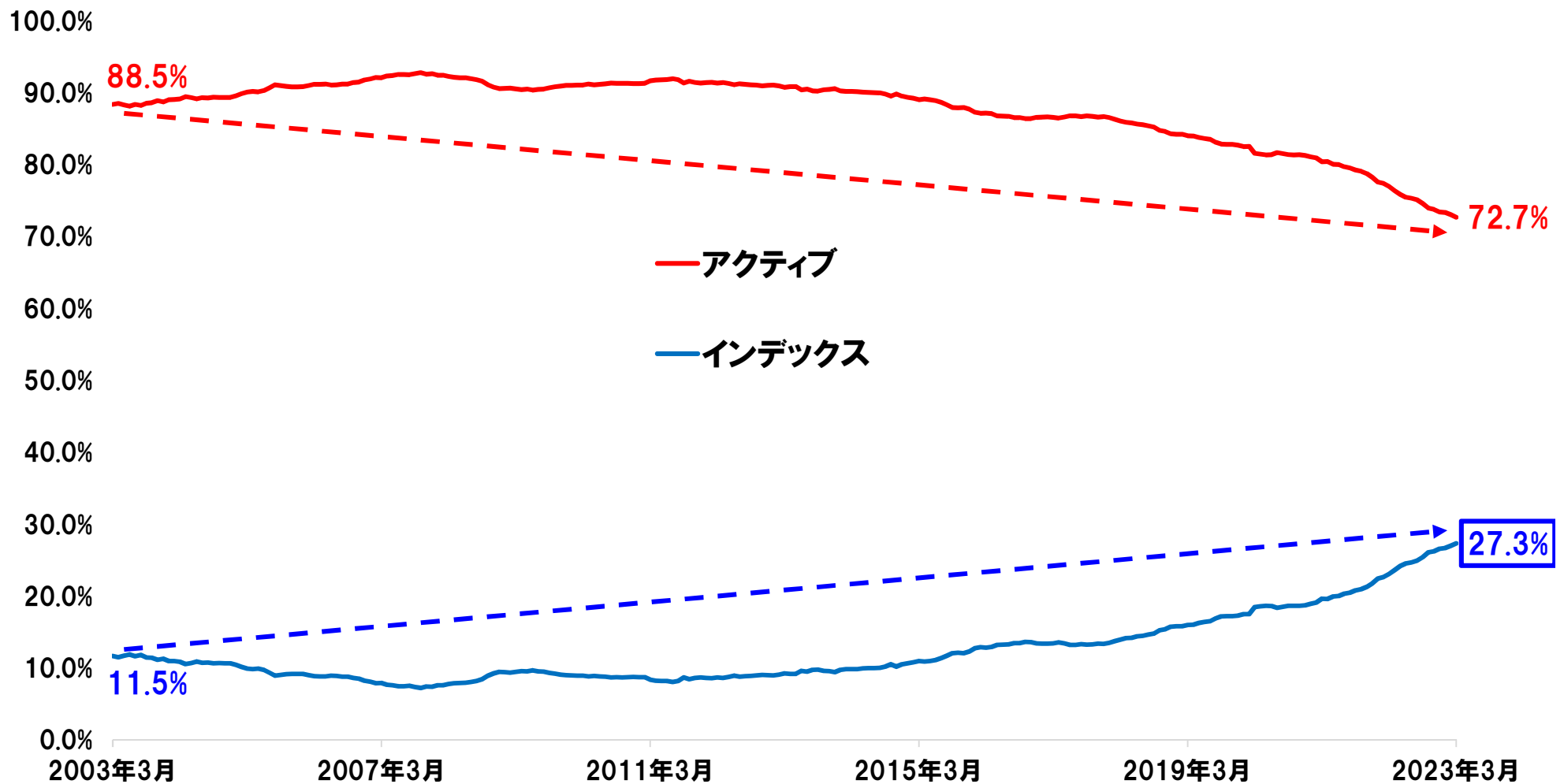
<現在のNISA>	つみたてNISA	一般NISA
非課税の投資額	年間40万円	年間120万円
非課税の保有限度額	800万円	600万円
<新しいNISA>	つみたて投資枠	成長投資枠
非課税の投資額	年間120万円	年間240万円
非課税の保有限度額	合計360万円(年) <u>1,800万円</u>	
投資対象商品	<b>積立投資に適した            一定の投資信託</b> (現行のつみたてNISA対象 商品と同様)	投資信託は、 信託期間20年未満、 高レバレッジ型、 毎月分配型を除外

# SBIのインデックスファンドの買付経路の内訳



# 国内籍ファンドのアクティブ・インデックスの比率

全体に占めるインデックスファンドの構成比は上昇を続ける



※ 国内籍ファンド＝国内公募追加型株式投信(ETF除く)、アクティブ・インデックス＝投信協会基準  
 ※ 期間：2003年3月～2023年3月(月次)

# 国内籍ファンドの純資産額トップ10

## TOP10に、インデックスファンドが4本もランクイン

<2013年3月末時点>

<2023年3月末時点>

順位	資産クラス	ファンド名	運用会社	純資産額 (億円)	インデックス/ アクティブ
1	米国REIT	新光 US-REITオープン	アセマネ One	10,042	アクティブ
2	米国REIT	フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	フィデリティ	9,850	アクティブ
3	ハイ・イールド債券	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	フィデリティ	9,192	アクティブ
4	世界REIT	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	日興	7,935	アクティブ
5	米国REIT	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	大和	6,848	アクティブ
6	世界株式	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	ピクテ	6,304	アクティブ
7	インド株式	野村 インド株投資	野村	5,762	アクティブ
8	世界債券	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	三菱UFJ 国際	5,481	アクティブ
9	豪州株式	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド (毎月分配型)	フランクリン	5,168	アクティブ
10	世界株式	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	日興	4,882	アクティブ

順位	資産クラス	ファンド名	運用会社	純資産額 (億円)	インデックス/ アクティブ
1	米国株式	eMAXIS Slim米国株式 (S&P500)	三菱UFJ 国際	18,757	インデックス
2	米国株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス	17,853	アクティブ
3	世界株式	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	ピクテ	10,110	アクティブ
4	世界株式	eMAXIS Slim全世界株式 (オール・カントリー)	三菱UFJ 国際	9,602	インデックス
5	世界株式	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	アセマネ One	8,622	アクティブ
6	米国株式	楽天・全米株式インデックス・ファンド	楽天	8,234	インデックス
7	米国株式	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセット	8,231	インデックス
8	米国株式	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	アライアンス	7,178	アクティブ
9	米国株式	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	ゴールドマン	6,798	アクティブ
10	米国REIT	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	大和	6,686	アクティブ

※ 国内公募追加型株式投信(ETF等除く)

# 世界の運用会社トップとの共同運用による商品提供

## <世界の運用会社の運用残高ランキング>

	運用会社・グループ名 (一部略称)	国籍	億ドル
1	ブラックロック	米国	100,101
2	バンガード	米国	84,664
3	フィデリティ	米国	42,338
4	ステート・ストリート	米国	41,382
5	JPモルガン	米国	31,130
6	アリアンツ(含むピムコ)	ドイツ	29,544
7	キャピタル	米国	27,152
8	ゴールドマンサックス	米国	24,700
9	BNYメロン	米国	24,343
10	アムンディ	フランス	23,325

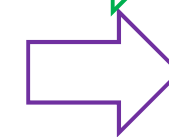
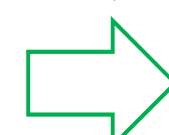
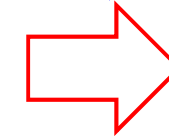
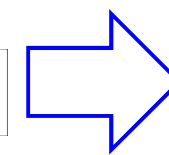
・  
・  
・

54	野村アセット	日本	5,682
57	アセマネOne	日本	5,121

SBIアセットの  
公募・私募ファンド



PIMCO



<i シェアーズ>

<V・シリーズ>

<雪だるま>

<債券運用>

# インデックスファンドの更なる商品ラインアップの拡充

S&P500は既に約8,500億円、全米株、全世界株(雪だるま)は、1,000億円を突破  
Vシリーズ&iシェアーズシリーズで合計11本を新たに設定

資産クラス	ファンド名	信託報酬 (税込、%)	純資産額 (億円)
米国株	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・S&P500』	0.0938	8,462
米国株	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・全米株式』	0.0938	1,425
米国株	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・米国高配当株式』	0.1238	225
全世界株	SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・全世界株式』	0.1338	219
エマージング株(複数)	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・新興国株式』	0.1438	-
小型株(除く米国)	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・世界小型株式(除く米国)』	0.1338	-
先進国株(除く米国)	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・先進国株式(除く米国)』	0.1138	-
小型株(米国)	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・米国小型株式』	0.1138	-
米国株	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド『愛称:SBI・V・米国増配株式』	0.1238	-
バランス型	SBI・iシェアーズ・米国バランス(2資産均等型)『愛称:まるっと米国』	0.0938	23
金(ヘッジあり)	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)『愛称:サクッと純金(為替ヘッジあり)』	0.1838	-
金(ヘッジなし)	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)『愛称:サクッと純金(為替ヘッジなし)』	0.1838	-
ハイイールド債券	SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド『愛称:サクッと米国ハイイールド債』	0.2138	-
米国総合債券	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド『愛称:サクッと米国総合債券』	0.0938	-
米国短期国債	SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド『愛称:サクッと米ドル』	0.1138	-
米国社債	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド『愛称:サクッと米国適格債(1-5年)』	0.1038	-
エマージング株(複数)	SBI・新興国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(新興国株式)』	0.1760	195
先進国株	SBI・先進国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(先進国株式)』	0.1022	146
全世界株	SBI・全世界株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(全世界株式)』	0.1102	1,017
中国株	SBI・中国A株インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(中国A株)』	0.4138	7

# 圧倒的にコストの低いインデックスファンドの提供

## SBI・V・シリーズ 新規設定のインデックスファンド

## 同種同等のコストの低い他社ファンド

No.	新インデックス ファンド案	信託報酬
①	SBI・V・ 米国増配株式インデックスファンド	<a href="#">0.1238%</a>
②	SBI・V・ 先進国株式(除く米国)インデックスファンド	<a href="#">0.1138%</a>
③	SBI・V・ 世界小型株式(除く米国)インデックスファンド	<a href="#">0.1338%</a>
④	SBI・V・ 米国小型株式インデックスファンド	<a href="#">0.1138%</a>
⑤	SBI・V・ 新興国株式インデックスファンド	<a href="#">0.1438%</a>

社名	ファンド名	信託報酬
楽天	楽天・米国高配当株式インデックス・ファンド 愛称: 楽天・VYM	0.192%
楽天	楽天・全世界株式(除く米国) インデックス・ファンド (愛称: 楽天・VXUS)	0.202%
フランクリン・ テンプルトン	フランクリン・テンプルトン・G・プレミア小型株 (年1、年2)	1.870%
ニッセイ	ニッセイ NASDAQ100インデックスファンド	0.2035%
三菱UFJ 国際	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.1867%



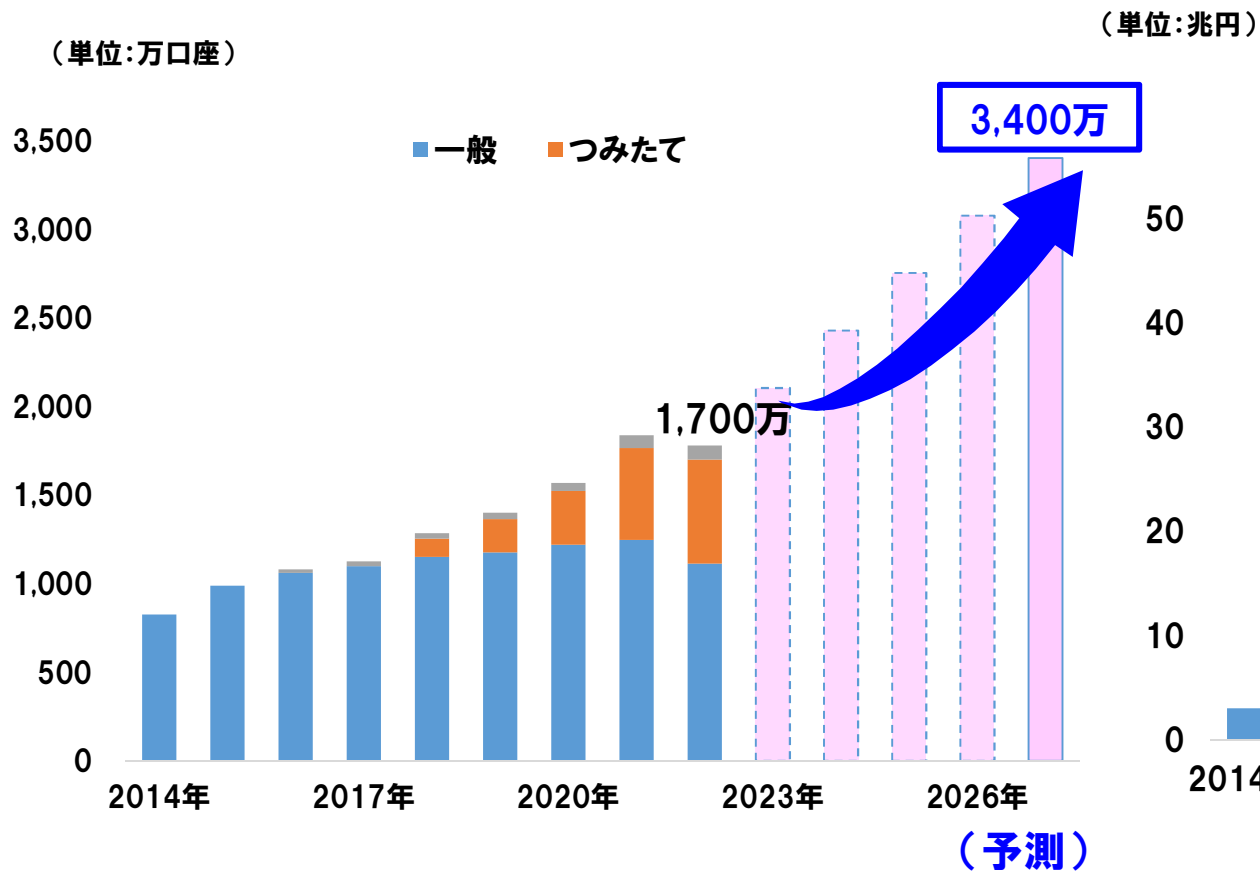
# SBIアセットのインデックスファンドのラインアップ

	米国	先進国(除く米国)	新興国
株式		雪だるま(全世界株式) SBI・V・全世界株式	
	SBI・V・S&P500	(新)SBI・V・先進国株式(除く米国)	(新)SBI・V・新興国株式
	SBI・V・全米株式	雪だるま(先進国株式)	雪だるま(新興国株式)
	SBI・V・米国高配当株式	EXE-i先進国株式	EXE-i新興国株式
	(新)SBI・V・増配株式		雪だるま(中国A株)
	(新)SBI・V・米国小型株式	(新)SBI・V・世界小型株式(除く米国)	
		EXE-iグローバル中小型株式	
債券	(新)SBI・iシェアーズ 米国短期国債ファンド (新)SBI・iシェアーズ 米国総合債券インデックス (新)SBI・iシェアーズ 米国投資適格社債(1-5年)インデックス (新)SBI・iシェアーズ 米国ハイイールド債券インデックス	EXE-i先進国債券	SBI・iシェアーズ ・米国バランス (2資産均等型) (愛称:まるっと米国)
REIT 金		EXE-iグローバルREITファンド (新)SBI・iシェアーズ ゴールドファンド(為替ヘッジあり・為替ヘッジなし)	

# 新しいNISAで伸びる市場規模

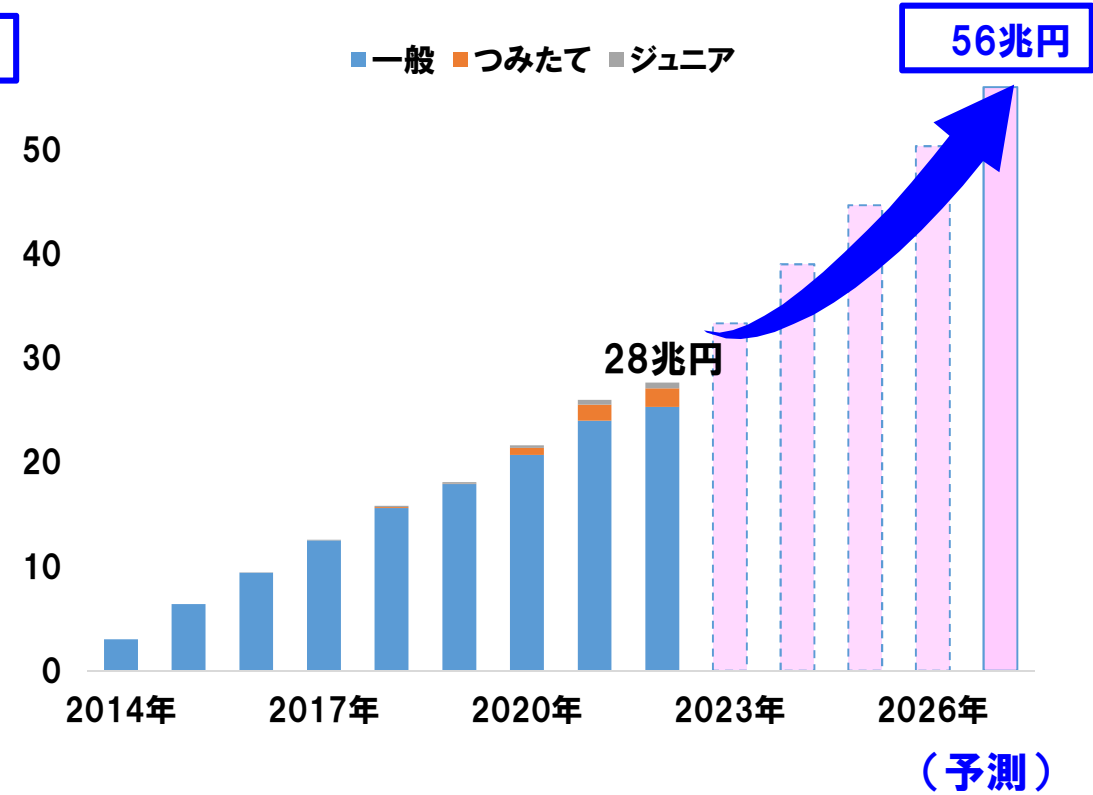
<NISA口座数推移>

(単位:万口座)



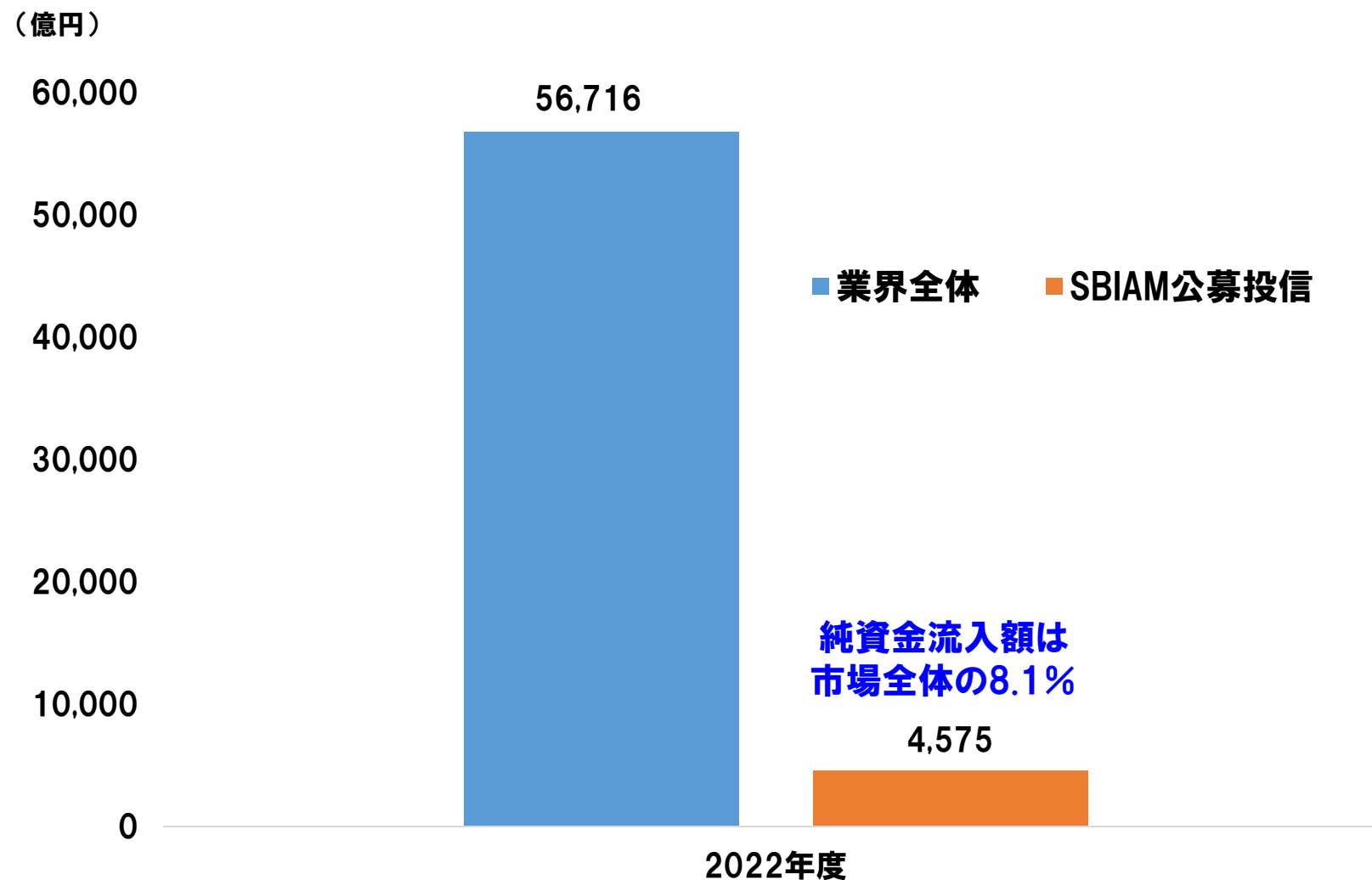
<NISA買付額推移>

(単位:兆円)



# 公募投信業界全体とSBIアセットの公募資金純流入額

SBIアセットの公募投信の純資金流入額は、全体の8.1%



※ 期間:2022年4月~2023年3月(年次)  
 公募投信(追加型除くETF)業界全体の数値は分配金控除後。  
 出所:一般社団法人投資信託協会

# 当社グループの運用残高は、 3年後に10兆円突破、5年後に20兆円を目指す

